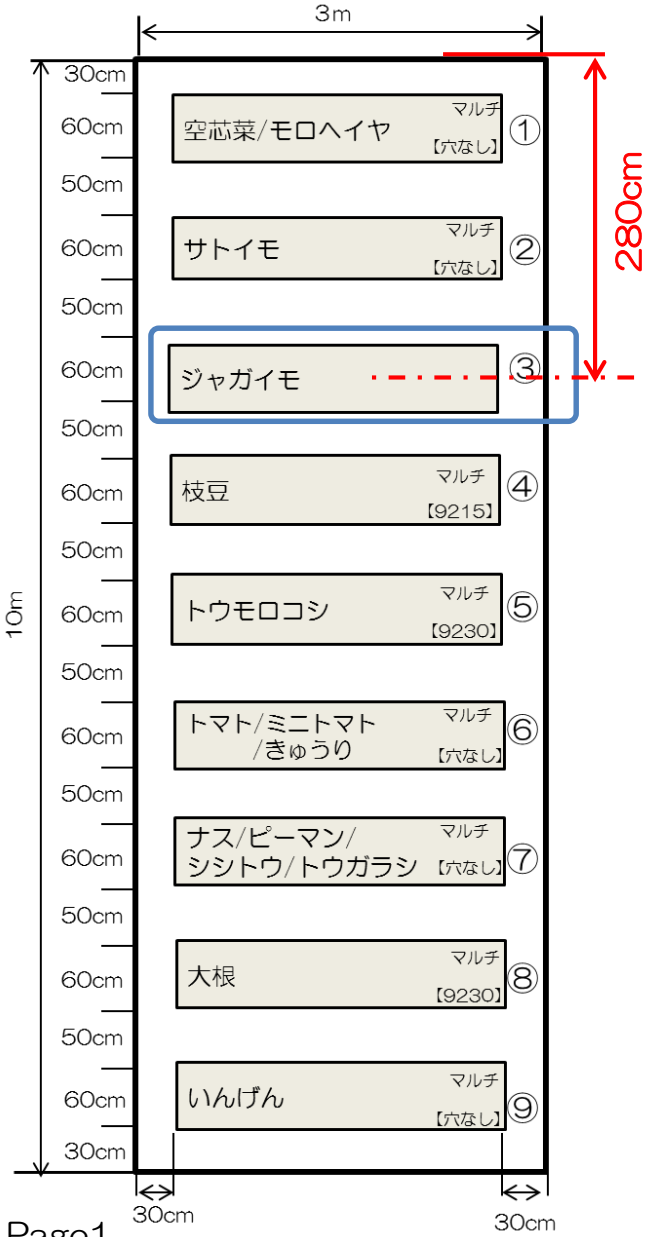
# 体験農園(小牧園)講習会 平成３０年度　１回目　2018/3/17(土)、18(日)

→ 北(農具庫側)

注：講習当日、内容が変更になる可能性があります



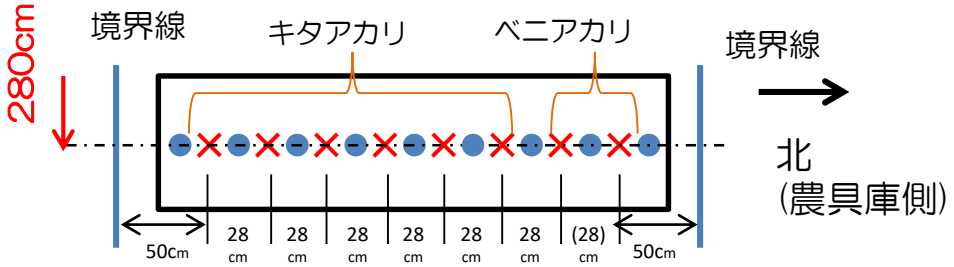

□畑つくり(区画全体)

- 施肥：堆肥 ２袋(15kg)、鶏糞１袋(15kg)
  ※今年度も実施済み(耕耘機にて混ぜ込み済)です。

□ジャガイモの植付け(③列目)

キタアカリ：３個(６か所)、ベニアカリ：１個(２か所)

- 種イモ切り(1/2にカット)　※芽があるところを残す
- ×指示部に深さ約10ｃｍ程度の深さの穴をスコップで掘り、種イモを植え付ける(28cm間隔)
- 施肥(肥料：野菜名人)　１杯　→●部に均等に撒く




※標準は30cm間隔ですが、種イモを効率よく使えるよう間隔を狭めています。

注１．区画/作付け位置に注意し、植付を行ってください。
注２．畝(うね)の作成や植付時に寸法を測る場合、区画の境界線(トラロープ)を基準としてください。
区画内/区画間の通路が確保できなくなるためです。

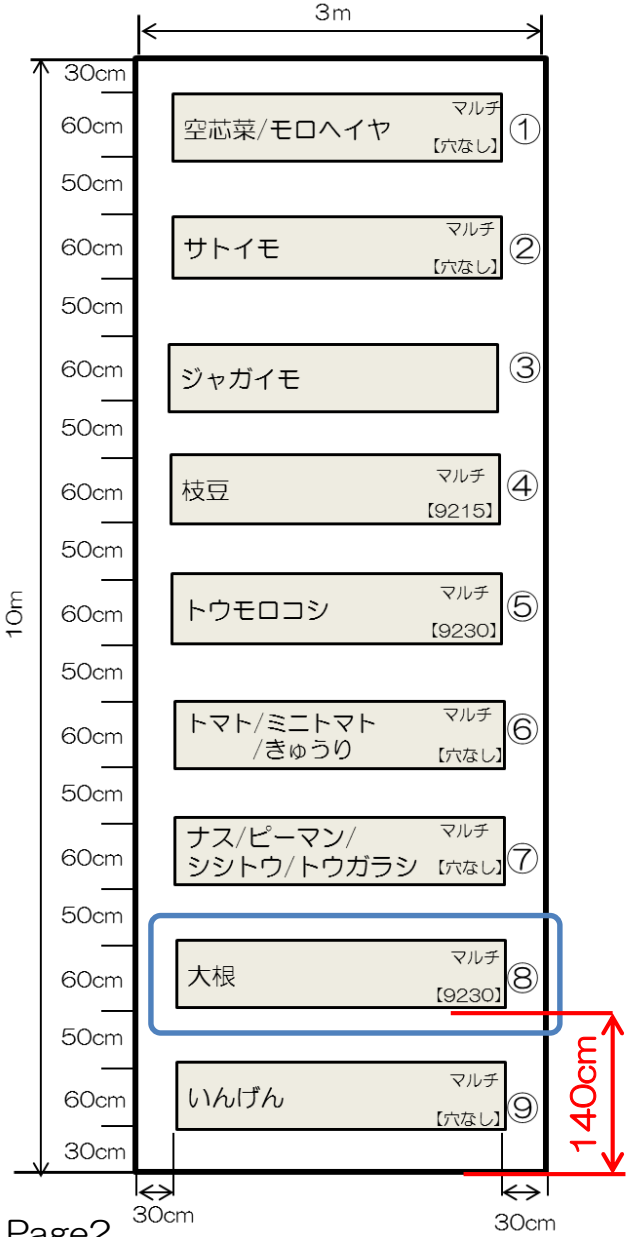


Ver. 20180311

# 体験農園(小牧園)講習会 平成３０年度　１回目　2018/3/17(土)、18(日)

→ 北(農具庫側)

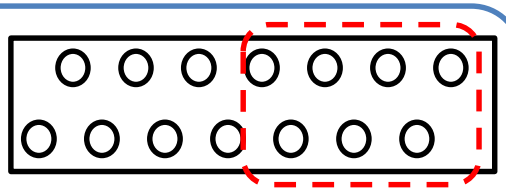
注：講習当日、内容が変更になる可能性があります




□大根の種まき(⑧列目)

- 施肥：スーパーＩＢ、石灰
  アヅミン　各１杯(約200g)
- マルチ9230をひく
- 種まき(半分/北側) 1穴4粒

※例年種まきは４月上旬でしたが
人参を早めに撒くため、日程を
早めました
肥料はよく混ぜ込んでください




マルチ穴

種を１か所に固まらないよう、
ばらして撒きます
指で４つ穴を空けると楽です

マルチ引き手順(参考)→１年目の方は個別指導します

①採寸し、畝両端に間縄を引く
②間縄間に施肥した後、レーキで肥料を畝全体に混ぜる
③畝全周を掘る
　慣れないうちは角スコップを使うと楽です。
　　注１.土は畝に垂直に掘り、土は畝外側によける
　　注２.４隅もしっかり掘る
④畝を平らにする(凸凹にすると水が溜まります)
⑤マルチを覆い、左右に引っ張りながら
　しわが出ないようにひく。

※工程⑤の後の微調整

穴を畝の端に合わせると
数が多く取れます

30cm分が通路となり
ます

間縄
作業後は片付けます

最後にマルチの縁
を押し込むと
きれいに張れます



Ver. 20180311

本資料はＨＰのみ掲載です

## 「各種肥料について」

第一回講習では「畑つくり」では堆肥(農園側で実施済み)、「ジャガイモ植え」では配合肥料撒きといった作業があります。同じように感じるかもしれませんが、それぞれ目的が異なります。

「畑つくり」の堆肥/石灰撒きは、**土壌を調整する**ことが主な目的です。

- 堆肥：土の保肥性/保水性/通気性等を高めたり、土中の微生物の活動を活発にすることで、土中の環境を良くする優れた「土壌改良材」としての働きをします。
- 石灰：土壌酸度を酸性→アルカリ性に変え、野菜が育ちやすいような酸度に調整します。

「ジャガイモ植え」の配合肥料撒きは、**野菜が成長するのに必要な栄養分を与える**ことが目的です。野菜に必要な三要素(窒素：N、リン：P、カリ：K)を与えます。

どちらも畑の状態により適正量が異なるため、本講習で示した量がそのまま他の畑(市民農園等)で使えるというわけではありません。ご注意ください

## 「マルチとは」

マルチとは正式には「マルチング」と言い、土の表面をポリフィルム等で覆う作業を意味します。
マルチを行う効果は、以下の通りです。

①地温を調整する　②土壌水分を保持する（乾燥防止）
③雑草の防除　④土の跳ね返りを防ぐ(病害防除)

色も、黒/透明/シルバー等があり、それぞれ以下の効果が優れているという特徴があります。
黒：雑草防除　/　透明：地温調整　/　シルバー：アブラムシ防除

当農園では雑草防除の効果が高い、黒のポリフィルムを多く使用していますが、トマト/ナスを植えつけるところは、アブラムシ防除のため、銀(シルバー)マルチを使用する場合があります。

ちなみに、マルチ9230の「9230」とは、マルチの種類を示しており、９→95cm幅/２→２列/３０→30ｃｍ間隔を意味しております。カブ等で使う9415は、95ｃｍ幅/４列/15ｃｍとなります。

当講習では、マルチ→穴なしマルチ、マルチ9ｘｘｘ→穴ありマルチと呼びます。
２種類以上のマルチ引きがある場合、間違えないように注意してください。

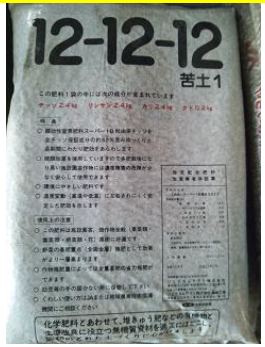
**本資料はＨＰのみ掲載です**

「肥料の紹介」

## 配合肥料（野菜名人）

野菜用に設計された配合肥料
有機質肥料をバランスよく配合

## 配合肥料（スーパーＩＢ）




窒素、リン酸、カリウムが各12%
化成８号に比べてやや遅効性だが、
持続性がある。

## 石灰（カルメイト）

土壌の酸度を調整します

## 土壌改良材（アヅミン）

腐植酸を主成分とした腐植酸苦土肥料です。
以下の目的で使用します。

- 畑に腐植酸を付加して、土壌バランスを整える。
- 肥料成分の効果を高める
- 作物の細根が増え、根張りがよくする。

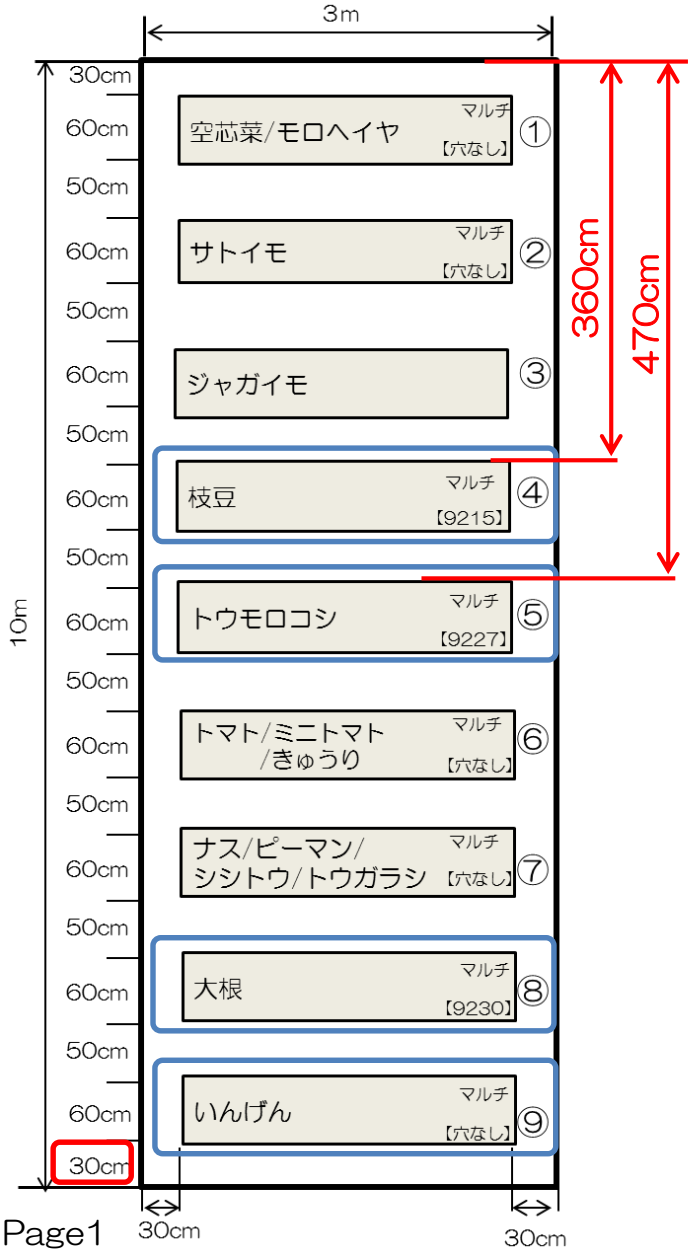
※腐殖は、土壌中に存在する黒い有機物のことで、有機物中に含まれる土づくりに有効な成分が腐植酸です

詳しくはデンカアヅミン(株)のＨＰをご覧ください。

# 体験農園(小牧園)講習会 平成３０年度　２回目　2018/3/24(土)、25(日)

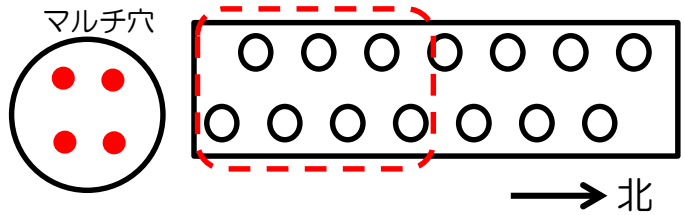
→ 北(農具庫側)

注：講習当日、内容が変更になる可能性があります

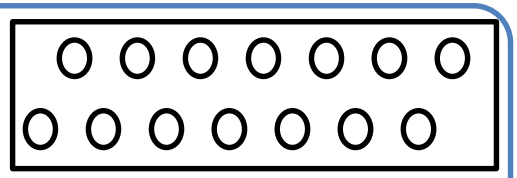



□大根の種まき(⑧列目)
- 種まき(半分/南側)
  ※1穴4粒

種を１か所に固まらないよう、ばらして撒きます
指で４つ穴を空けると楽です



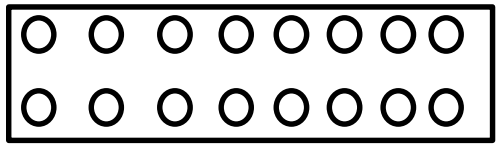

□トウモロコシのマルチ引き(⑤列目)
- 施肥：野菜名人、石灰
  アヅミン 各１杯(約200g)
- マルチ9227をひく



注：穴の数は参考です。→ 北

以下　④、⑨列は、 ゆっくり作業したい方、体力に自信がない方、当日お時間がない方は講習時間外に進めていただいて構いません。ハウス内に肥料/資材は常備しているので、作業時の事前連絡等は不要です。第４回講習会(4/14,15)までに完了してください。

□枝豆のマルチ引き(④列目)
- 施肥：野菜名人、石灰
  アヅミン　各１杯(約200g)
- マルチ9215をひく



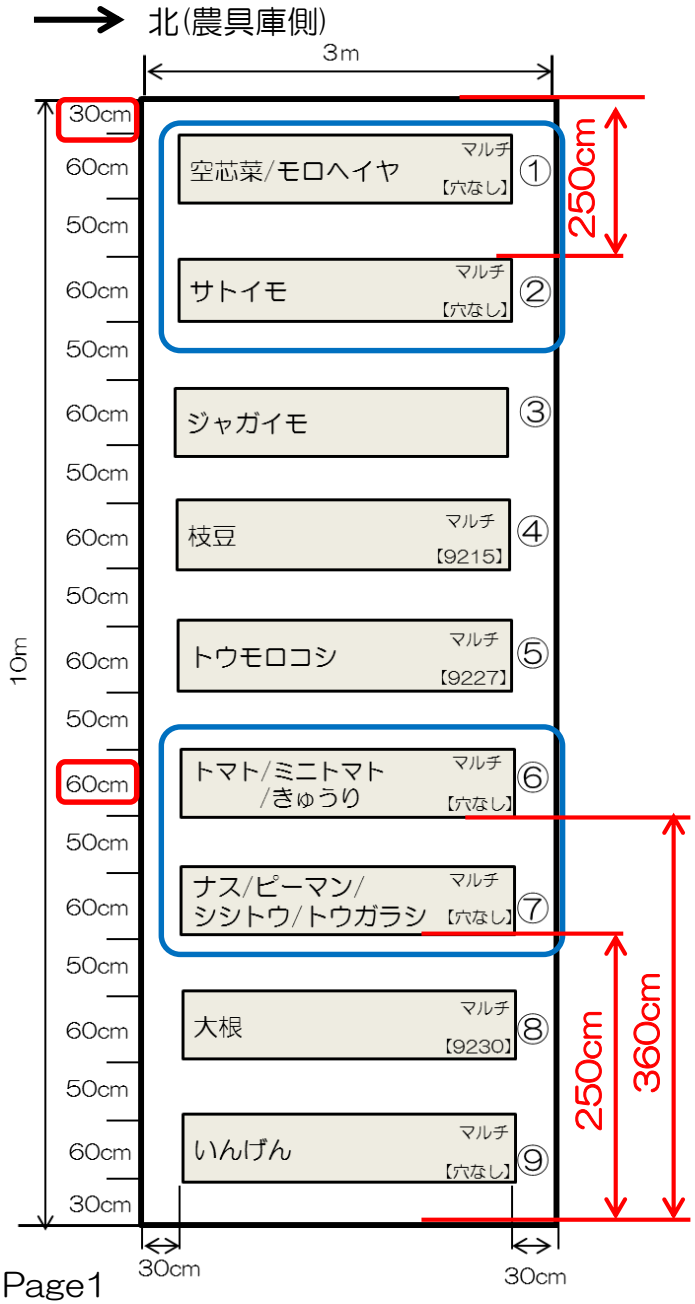
注：穴数は参考です。→ 北

□いんげんのマルチ引き(⑨列目)
- 施肥：野菜名人、石灰、アヅミン 各１杯(約200g)
- 穴なしマルチ(黒マルチ)をひく



Ver. 20180318

# 体験農園(小牧園)講習会 平成３０年度　春のマルチひき




第３回講習会以降のマルチひきです
肥料/マルチは全て同一です

優先順位が高い順番に記載しています

□トマト/きゅうりの準備(⑥列目)
- 施肥：野菜名人、アズミン　石灰　各1杯(約200g)
- 穴なしマルチ(黒マルチ)をひく

※できるだけマルチ幅60cmを確保するように！
狭いと支柱立て/植付の際、苦労します

□ナス/ししとう/ピーマンの準備(⑦列目)
- 施肥：野菜名人、アズミン　石灰　各1杯(約200g)
- 穴なしマルチ(黒マルチ)をひく

□空芯菜/モロヘイヤのマルチ引き(①列目)
- 施肥：野菜名人、石灰、アヅミン 各１杯(約200g)
- 穴なしマルチ(黒マルチ)をひく

□サトイモのマルチ引き(②列目)
- 施肥：野菜名人、石灰、アヅミン 各１杯(約200g)
- 穴なしマルチ(黒マルチ)をひく

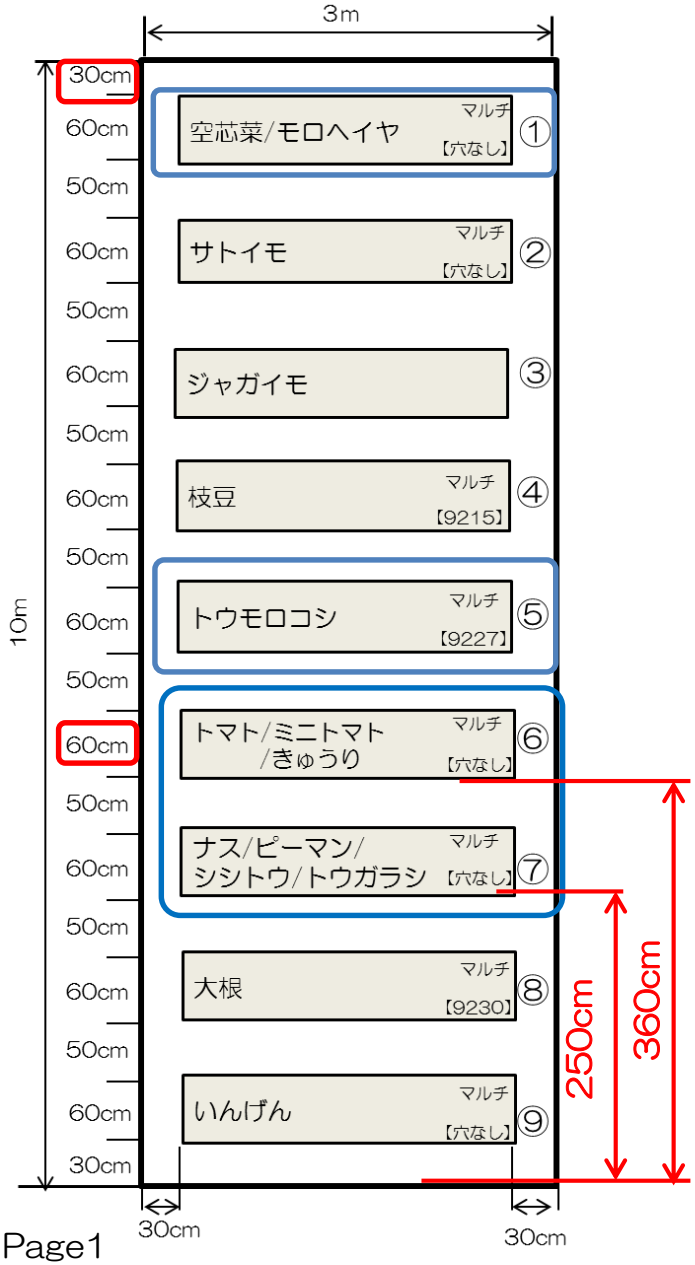


Ver. 20180325

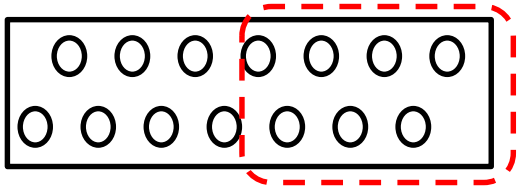
# 体験農園(小牧園)講習会 平成３０年度　3回目　2018/4/7(土)、8(日)

→ 北(農具庫側)

注：講習当日、内容が変更になる可能性があります




□トウモロコシの種まき(⑤列目)
- 種まき１穴2粒（半分/北側）



注：穴数は参考です。 → 北

□トマト/きゅうりの準備(⑥列目)
- 施肥：野菜名人、アズミン　石灰　各1杯(約200g)
- 穴なしマルチ(黒マルチ)をひく

※できるだけマルチ幅60cmを確保するように！
狭いと支柱立て/植付の際、苦労します

以下　⑦、①列は、 ゆっくり作業したい方、体力に自信がない方、当日お時間がない方は進めていただいて構いません。ハウス内に肥料/資材は常備しているので、作業時の事前連絡等は不要です。第5回講習会(4/28,29)までに完了してください。

□ナス/ししとう/ピーマンの準備(⑦列目)
- 施肥：野菜名人、アズミン　石灰　各1杯(約200g)
- 穴なしマルチ(黒マルチ)をひく

□空芯菜/モロヘイヤのマルチ引き(①列目)
- 施肥：野菜名人、石灰、アヅミン 各１杯(約200g)
- 穴なしマルチ(黒マルチ)をひく

余裕がある方：支柱立てを指導します



Ver. 20180401

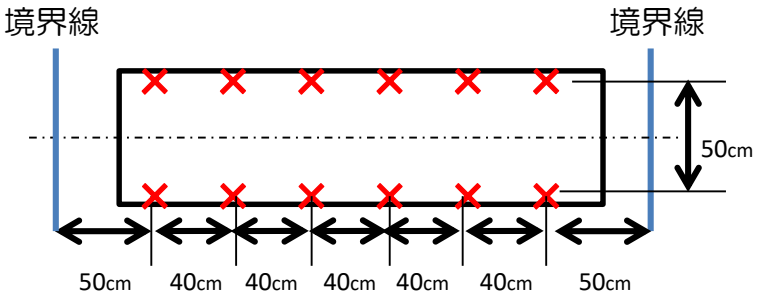
# 体験農園(小牧園)講習会 平成３０年度　トマト/きゅうり支柱立て

## 【トマト/きゅうりの支柱立て作業】

当体験農園では、合掌(がっしょう)式支柱を採用しています。

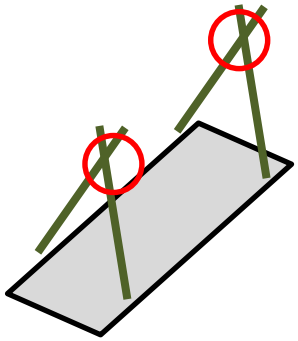
①支柱(13本)と紐(ビニール紐)を用意する。

②支柱を立てる箇所に印をつける
※マルチ引きに使用した間縄を使うときれいに立てられます。

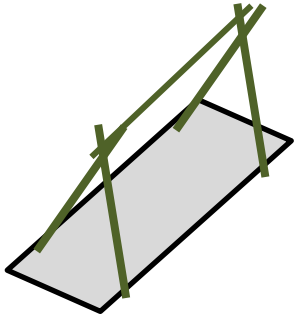


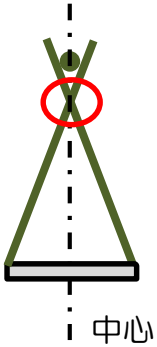

※本来の植付は50cm間隔ですが、トマト類の植付本数を増やすため、40cm間隔としています。

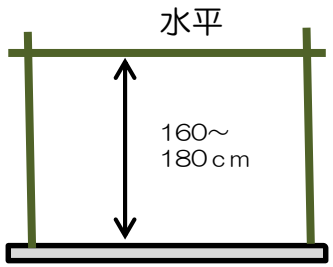
③両端の支柱を下図のように交差させて立て、紐で仮止めする。



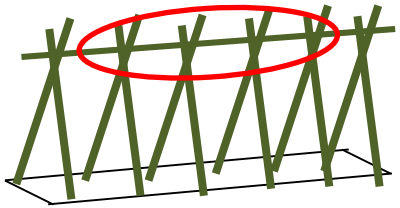
④上方に支柱をのせ、マルチ中心位置、水平位置になるよう調整し、仮止めした紐を本締めする。
高さは各自結びやすい高さで結構です。





⑤残りの支柱を上方の支柱に合わせて、
下図のように立てる。→**支柱は絶対曲げないでください**
立て終わったのち、３本の支柱をまとめて紐でしばる。

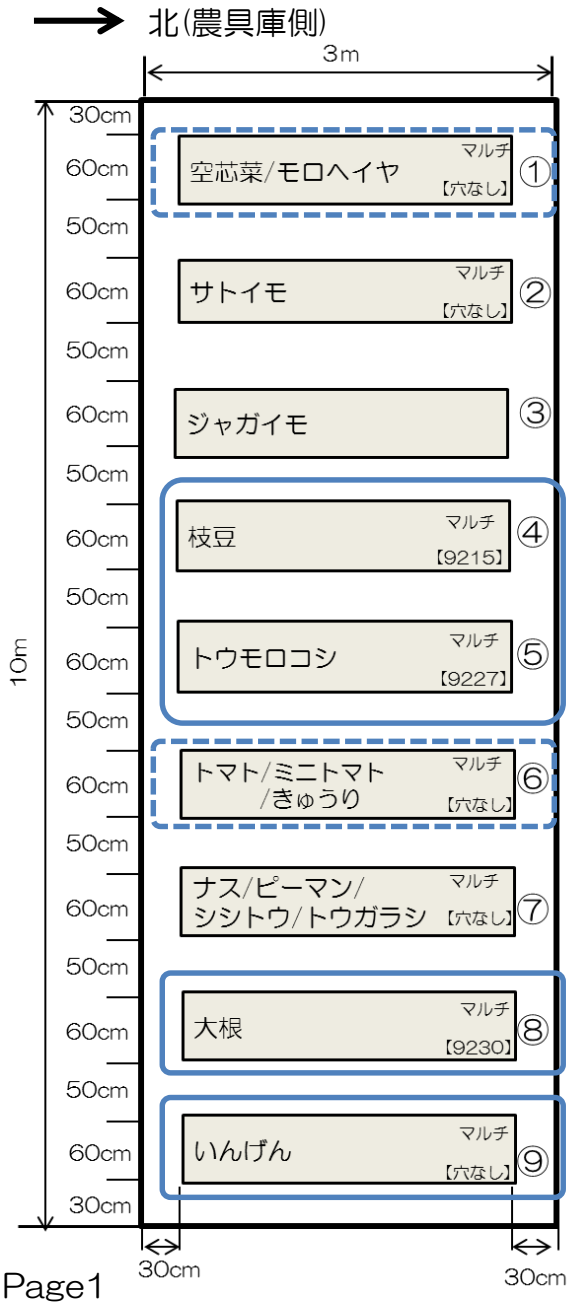


⑥手で支柱をゆらし、安定していることを確認する。

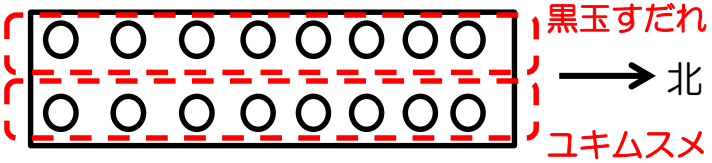
※写真は麻紐ですが、ビニール紐を使ってください。

# 体験農園(小牧園)講習会 平成３０年度　４回目　2018/4/14(土)、15(日)

注：講習当日、内容が変更になる可能性があります

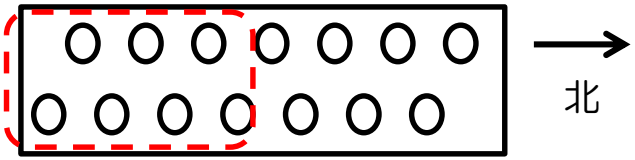



□枝豆の種まき(④列目)
- 種まき1穴２粒
  (深さ1.5cm程度)



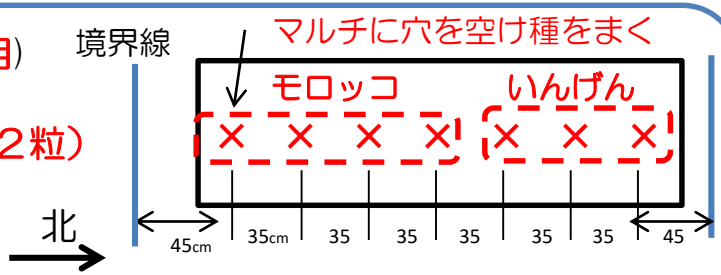

種まき後、鳥避けのためパオパオ(不織布)をかぶせます

□トウモロコシの種まき
(⑤列目)
- 種まき１穴2粒




□いんげんの種まき(⑨列目)
- マルチに穴をあける
- 種まき（7か所、１穴２粒）

※穴が小さすぎると、
熱で種が腐ります。




種まき後、鳥避けのためパオパオ(不織布)をかぶせます

□大根の間引き　４本→２本　北側

以下作業がまだの方、なるべく第４回講習会で終わらせてください

□空芯菜/モロヘイヤ　マルチひき

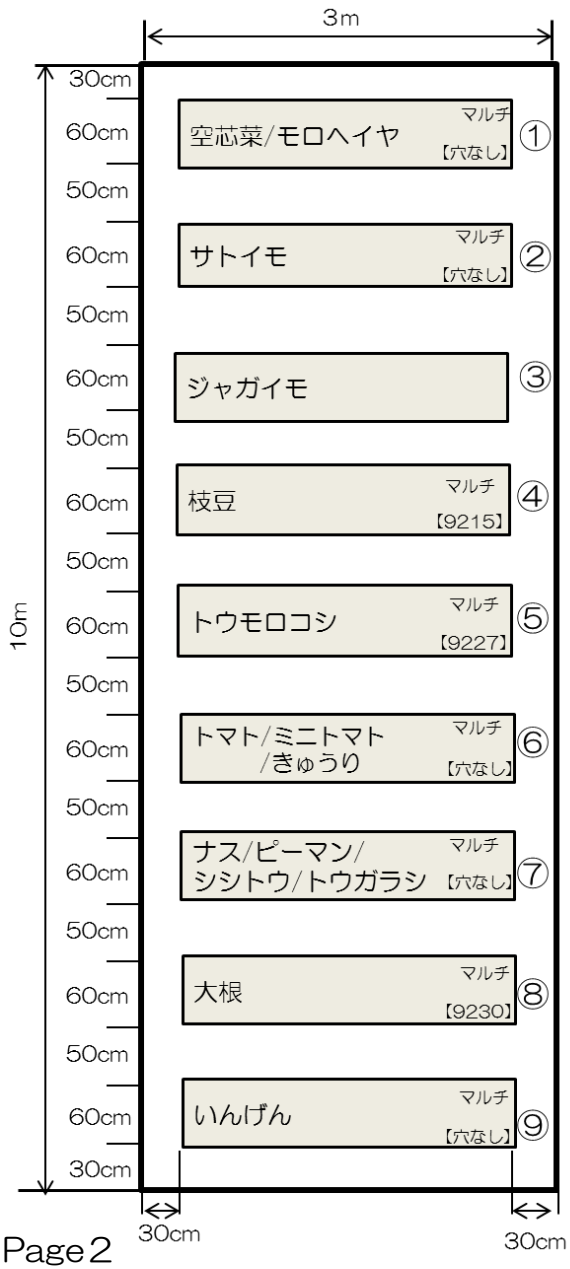
□トマト/きゅうりの支柱立て



Ver. 20180408

本ページはHPのみ掲載です

## 第４回講習会までに植付/種まきした品種のまとめ




→ キタアカリ/ベニアカリ

→ 黒玉すだれ：日本農林社
ユキムスメ：雪印種苗

→ ピーターコーン：サカタのタネ

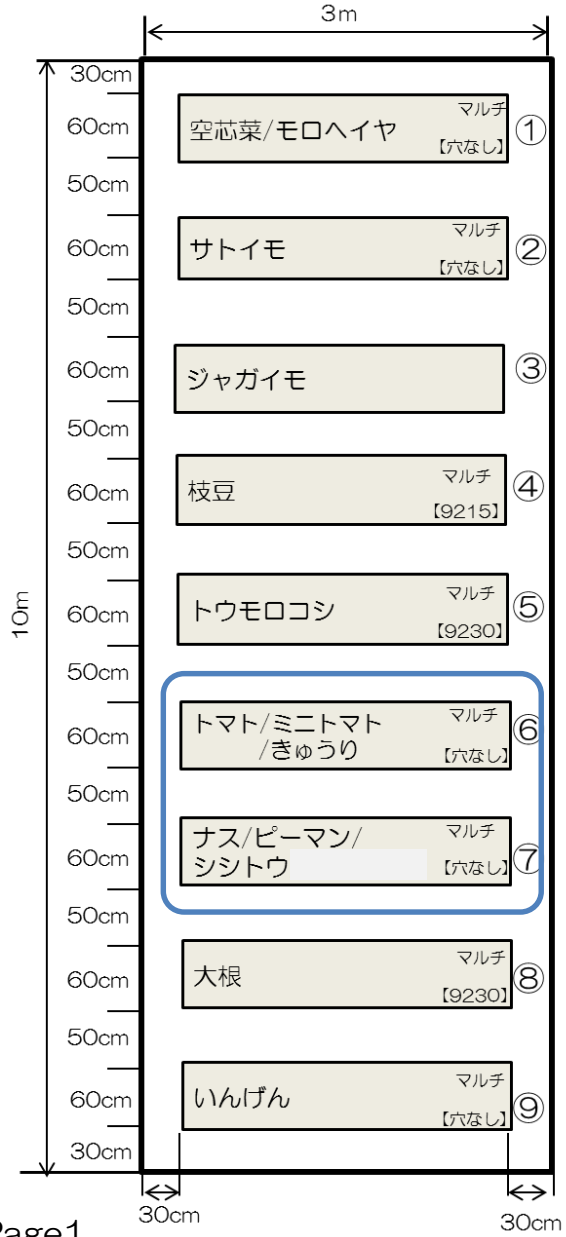
→ 天宝(青首大根)：サカタのタネ

→ つるなしモロッコ(モロッコ)：タキイ種苗
サクサク王子(インゲン)：サカタのタネ

# 体験農園(小牧園)講習会 平成３０年度　5回目　2018/4/28(土)、29(日)

→ 北(農具庫側)

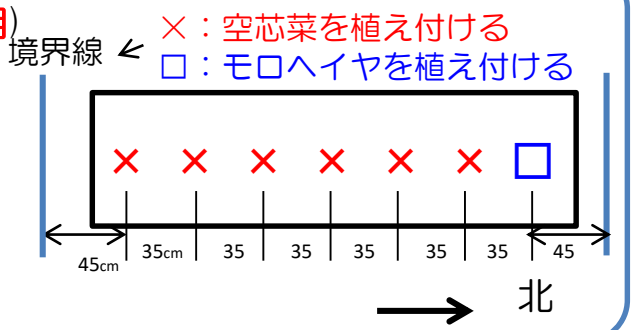
注：講習当日、内容が変更になる可能性があります




## □空芯菜、モロヘイヤ植付(①列目)

- マルチに穴を空ける
- 空芯菜、モロヘイヤの苗を植え付ける

※モロヘイヤを数を増やしたい方は、
空芯菜の植付数を減らしてください

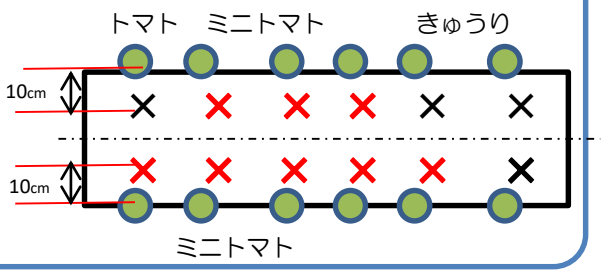



## □トマト類の植付(⑥列目)

- 支柱立て(別資料参考)
- 植付け
  →場所はPage２を参照
- 植付後紐(麻紐)で縛る（誘引）

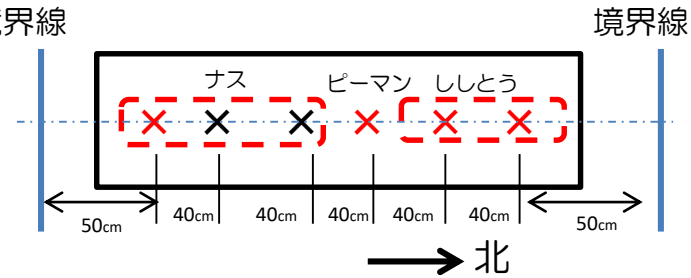
→ 北

支柱から10cm程度離れたところにマルチに穴を空け、植付けする




## □ナス類の植付け(⑦列目)境界線

- マルチに穴を空ける
- 各種苗を植付け
  →Page2を参照
- 植付後、鉄棒を立て、紐(麻紐)で縛る




マルチに穴を空け、植付けする

※本来は50cm間隔ですが、植付本数を増やすため、40cm間隔としています。

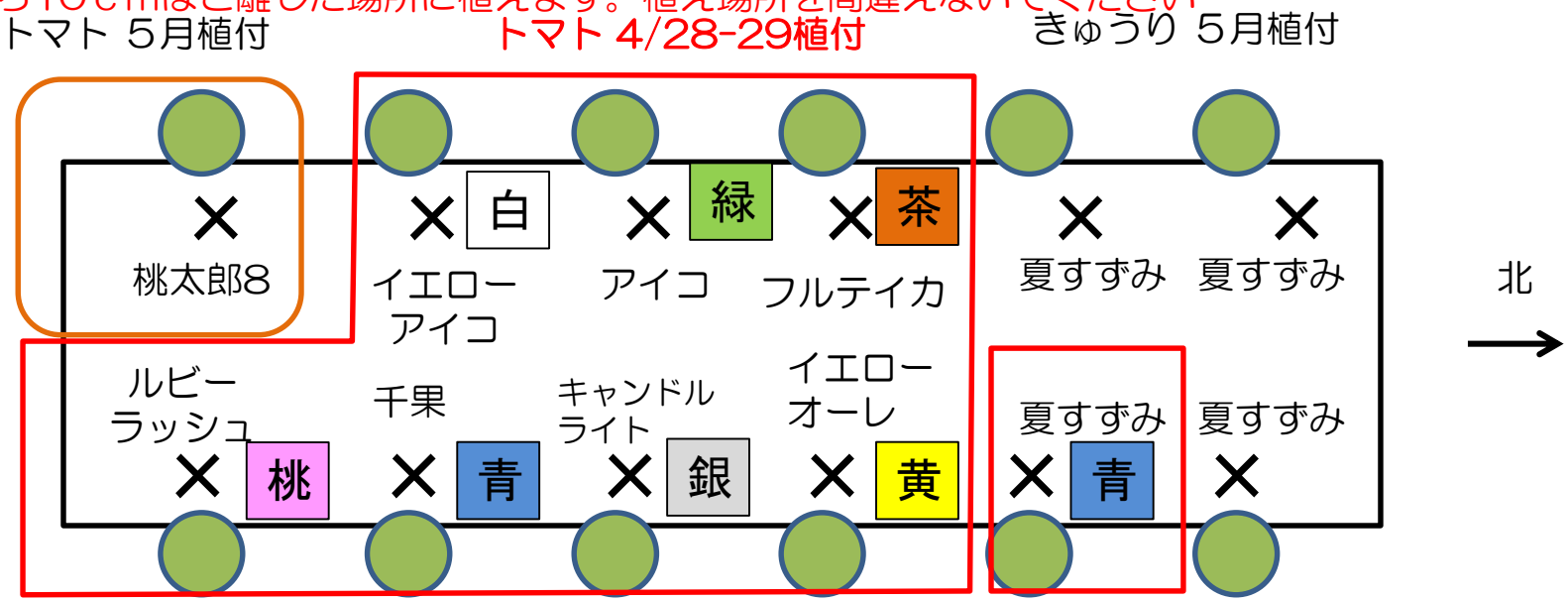


Ver. 20180429

# 体験農園(小牧園)講習会 平成３０年度　5回目　2018/4/28(土)、29(日)

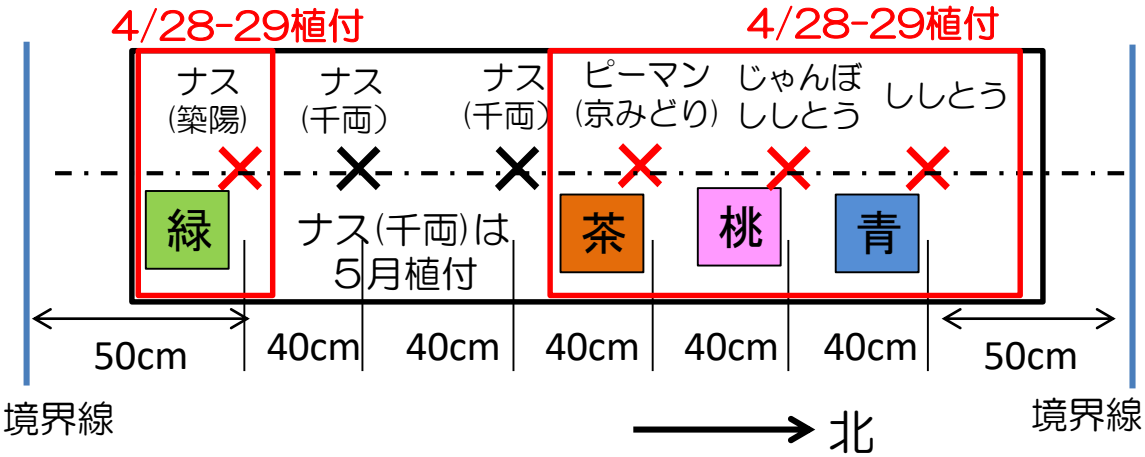
【トマト/きゅうりの植付場所(⑥列目)】

支柱から10ｃｍほど離した場所に植えます。植え場所を間違えないでください

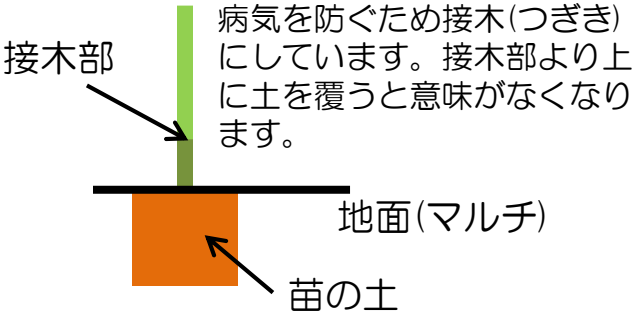



【なす/ピーマン/ししとうの植付場所(⑦列目)】

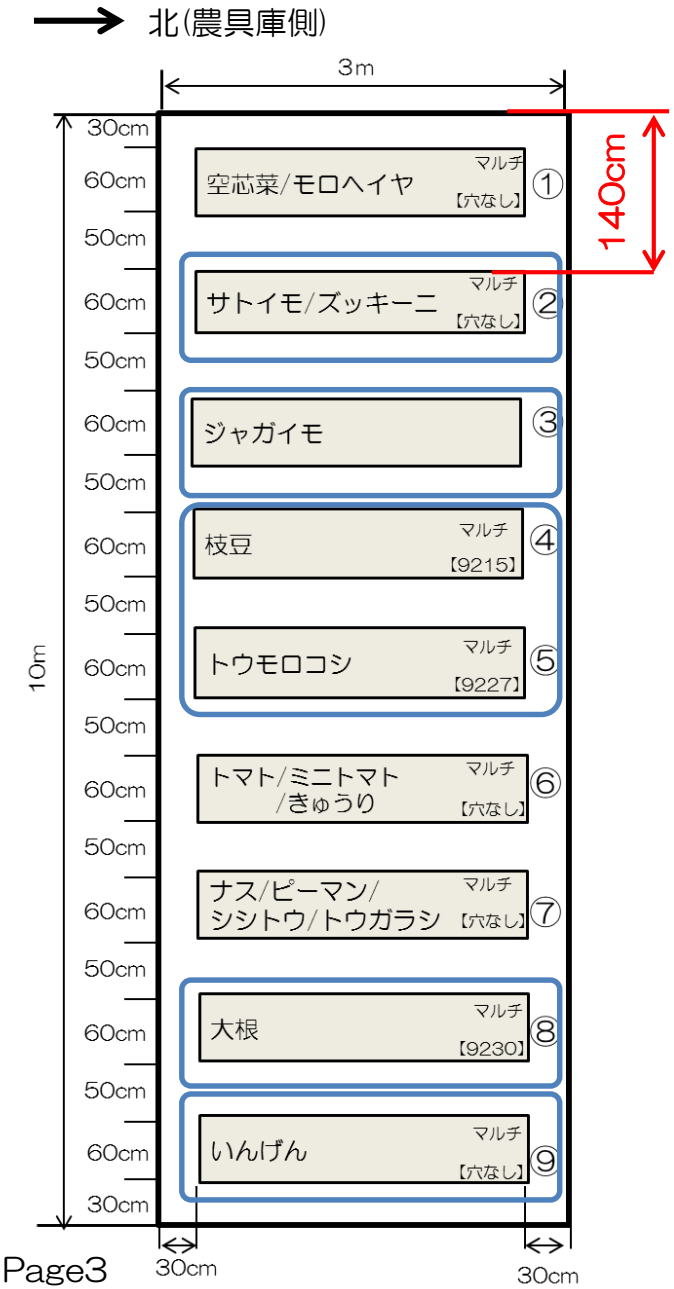
植え場所を間違えないでください




ナス(築陽)の苗は深く植えすぎず、
苗の土の部分と地面(マルチ)が同じ
高さになるようにしてください

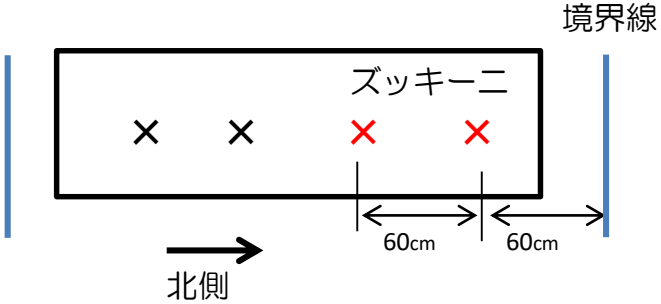


# 体験農園(小牧園)講習会 平成３０年度　5回目　2018/4/28(土)、29(日)




□全般
- 除草、誘引、補植(いんげん/枝豆/トウモロコシ等)
  いんげん、枝豆のパオパオははがし、各自ボックス内に保管ください。

□ズッキーニ(②列目)
- 野菜名人、アヅミン、石灰　各１杯
- マルチ(穴なし)をひく
- 北側２か所穴を空けて苗を植える(２か所)
- 鉄棒に誘引



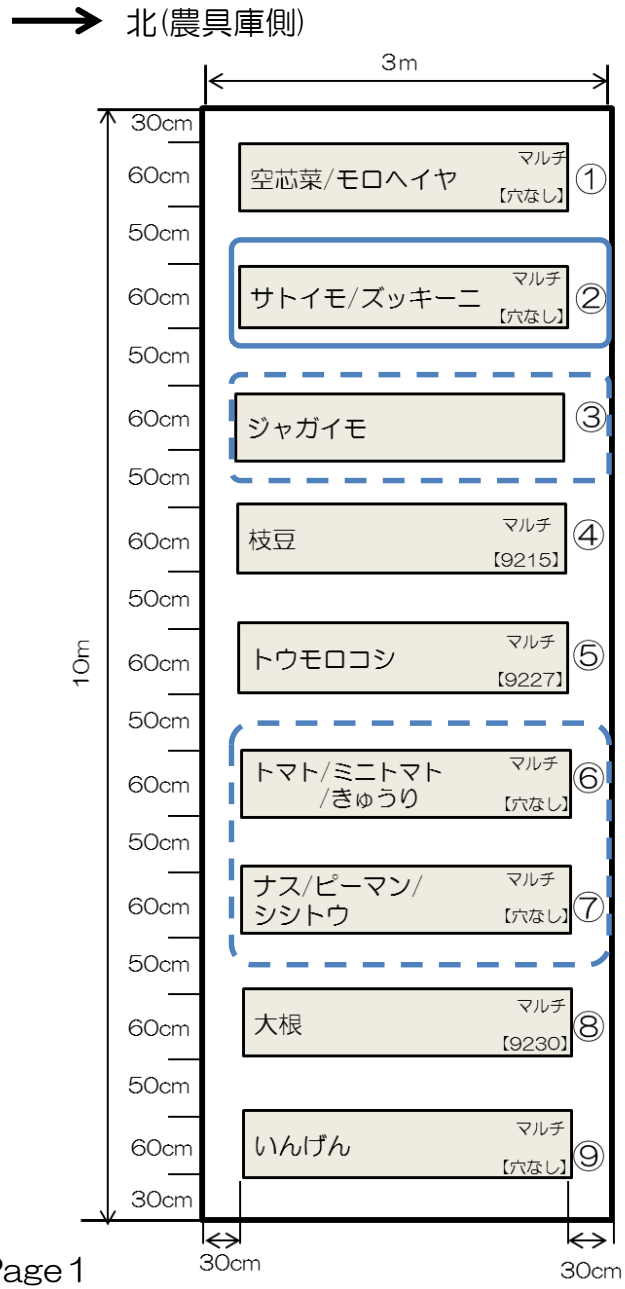

□ジャガイモ(③列目)
- 追肥(化成８号)、土寄せ

□大根(⑧列目)
- まびき→大きいものは早めに１本にしてください



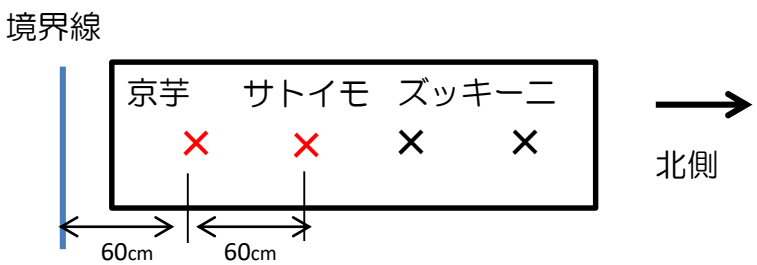
Ver. 20180429

# 体験農園(小牧園)講習会 平成３０年度　6回目　2018/5/12(土)、13(日)

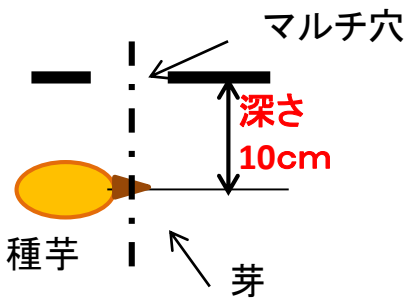



□全般
- 除草、誘引、トマトのめかき
  ※トマトめかき→自信がない方は個別指導します
- 大根は全て１本に間引いてください

□京芋/サトイモ(②列目)
黒マルチに穴を空ける




種芋を横向きにし
芽がマルチ穴の
中心にくるように
植えてください。




以下作業未着手の方

□ジャガイモ土寄せ(③列目)
※追肥がまだの方、化成８号１杯

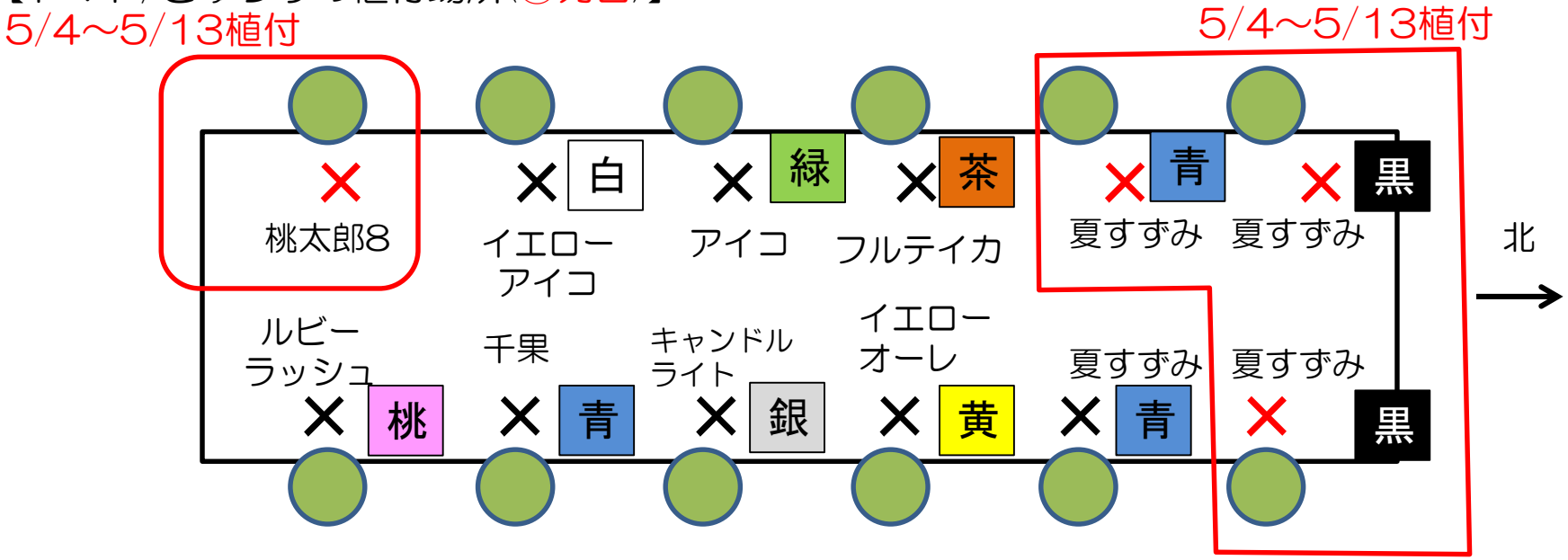
□トマト/きゅうり/ナス植付(⑥⑦列目)
Page2参照



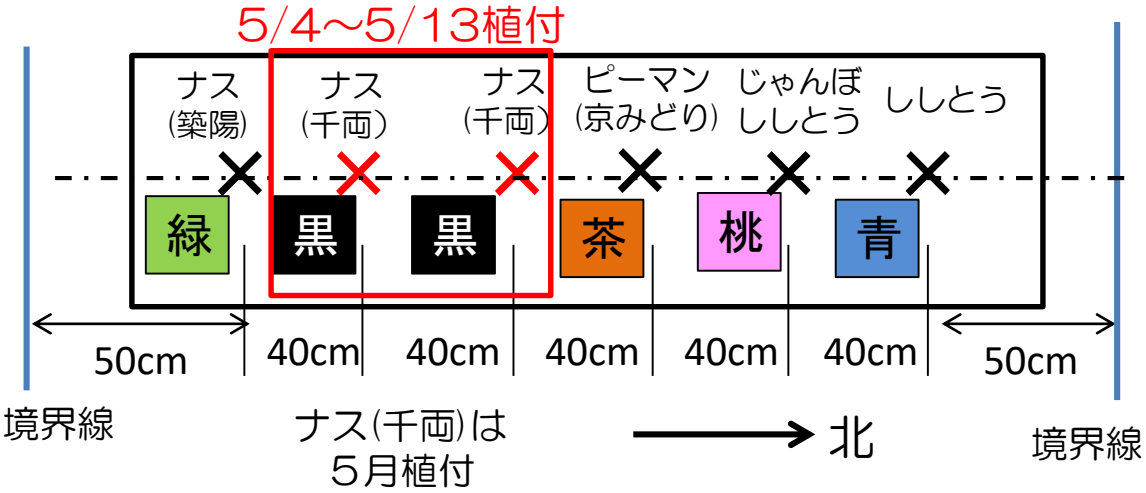
Ver. 20180506

# 体験農園(小牧園)講習会 平成３０年度　6回目　2018/4/28(土)、29(日)

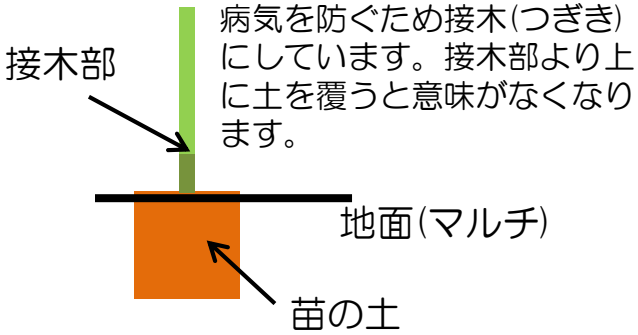
【トマト/きゅうりの植付場所(⑥列目)】




【なす/ピーマン/ししとうの植付場所(⑦列目)】



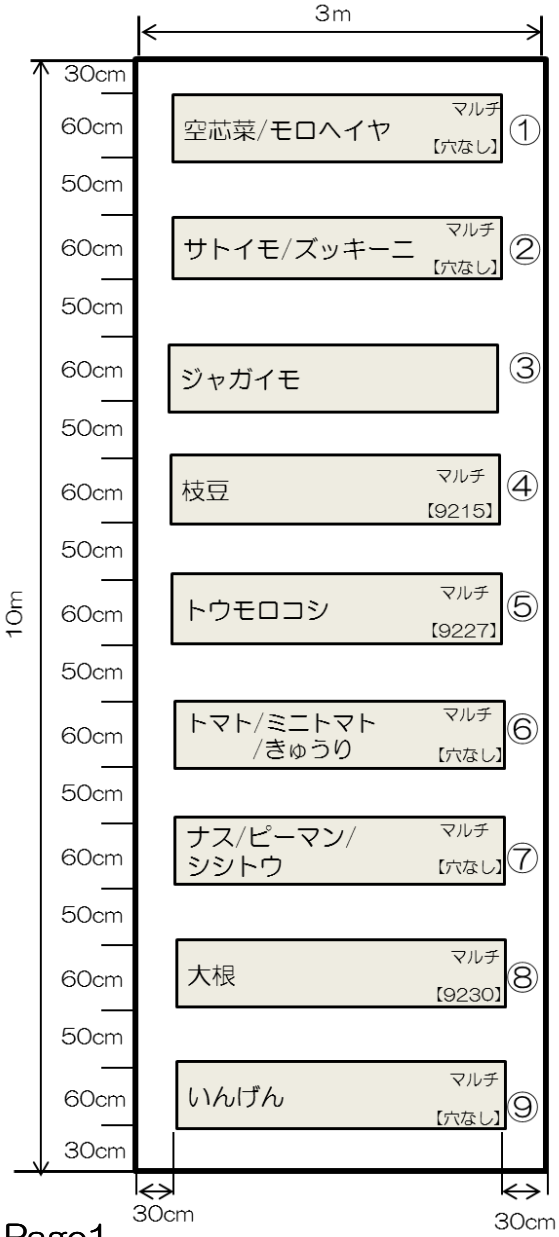

苗は深く植えすぎず、苗の土の部分と地面(マルチ)が同じ高さになるようにしてください



# 体験農園(小牧園)講習会 平成３０年度　7回目　2018/5/19(土)、20(日)

→ 北(農具庫側)

注：講習当日の指示に従って作業ください



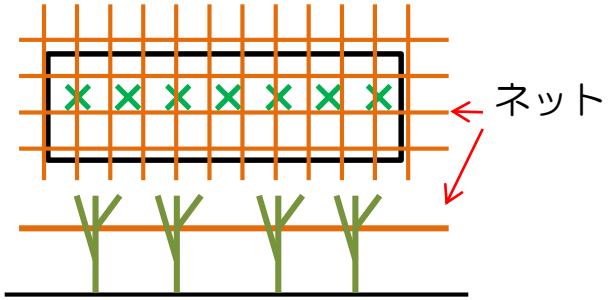

□全般
- 除草、誘引(トマト/きゅうり)、トマトのめかき
  ※トマトめかき→自信がない方はお声掛けください

□大根収穫
□ナス列ネット張り
□いんげん支柱立て

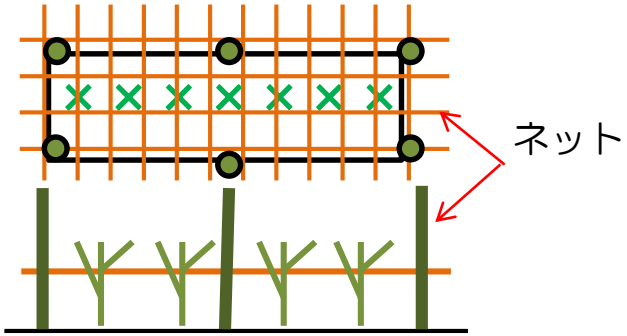
【ナス/ししとう/ピーマンネット張り】

①支柱(74ｃｍ/6本)と
　ネットを用意する。

②ネットをナス/ししとう/
　ピーマンの上に軽く掛ける




③支柱を６本立て、ネットを張り、
　麻紐で縛り固定する




※保持していた鉄棒は外す
　(小さい苗は除く)

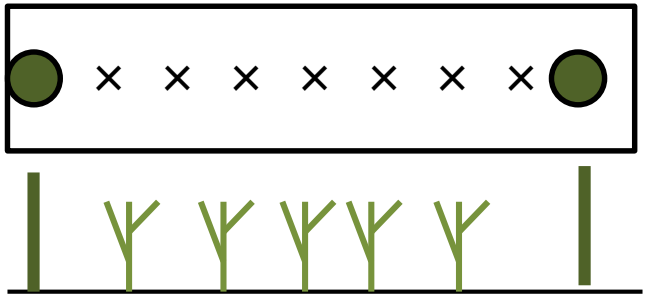
④成長に合わせてネット高さを調整する

Ver. 20180513

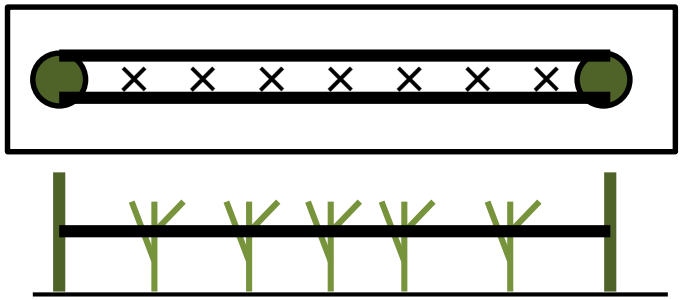
【いんげん支柱立て】

①支柱(74ｃｍ/２本)と黒ビニール紐を用意する

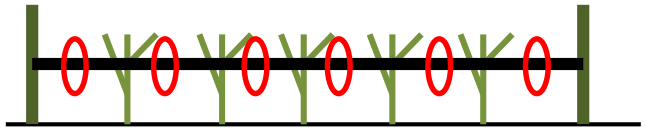
②マルチの両端に支柱を立てる（50ｃｍ位）



③一番小さい苗の高さに合わせ、
２本のビニール紐を両側から挟むようにして支柱に縛る



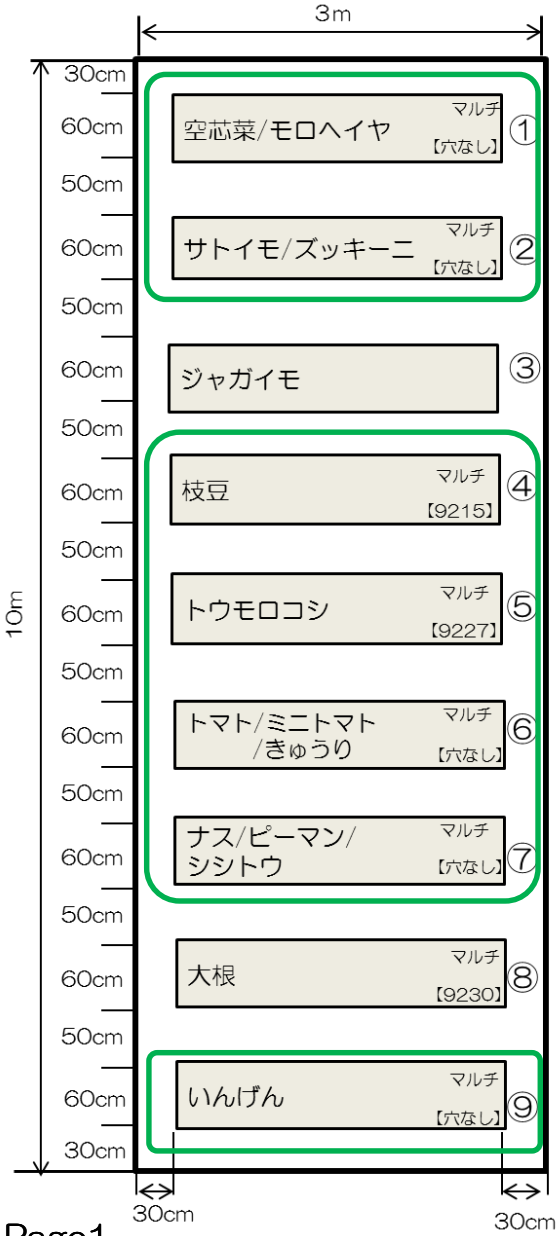
④苗と苗の間を麻紐で縛る



# 体験農園(小牧園)講習会 平成３０年度　8回目　2018/6/2(土)、6/3(日)

→ 北(農具庫側)

注：講習当日の指示に従って作業ください




□全般

- 次回講習から夏時間となります(来園時間　6：00～9：00)
- 除草、トマトのめかき、誘引(トマト/きゅうり)

□追肥　追肥用肥料　緑四角部

１つまみ/１株

- 空芯菜/モロヘイヤ(①列目)、サトイモ、ズッキーニ(②列目)
- 枝豆(④列目)　・トウモロコシ(⑤列目)
- トマト/きゅうり(⑥列目)　・ナス/ししとう/ピーマン(⑦列目)
- いんげん(⑨列目)

*多すぎないよう注意してください(肥料焼けします)。*

【追肥のやりかた】

追肥用肥料を<u>１株１つまみ</u>撒きます
ボールに入れ、余った肥料は元に戻してください

「１つまみ」はこれくらいです

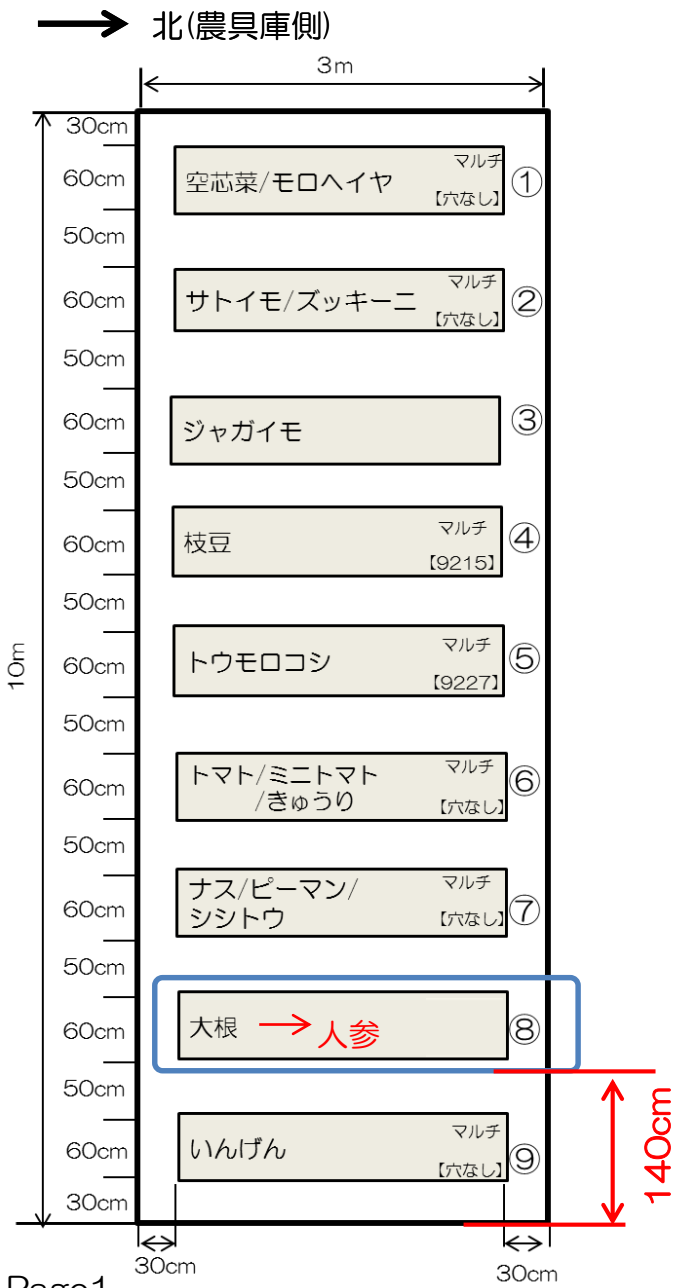
根元に1つまみ
ずつ追肥します



Ver. 20180526

# 体験農園(小牧園)講習会 平成30年度　人参まき　　2018年6月9日～6月30日

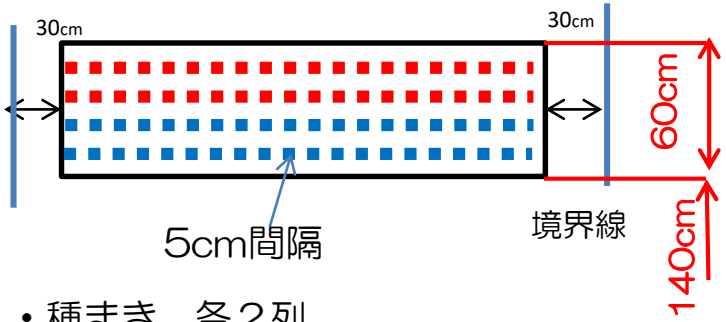
注：講習当日、内容が変更になる可能性があります




【人参種まき】

□人参(五寸人参/向陽二号)

- 大根のマルチをはがし、よく耕す
- 石灰(カルメイト)→１杯
- 化成肥料(化成8号)　→1杯
- アズミン→1杯
- ネマトリン→約40g(計量カップ１杯)
- うね作り
  下図のようなうねを作ります
  うね作成後、専用器具で
  ４つの筋をつくります。



器具を地面に押し付け
4本の筋を作ります

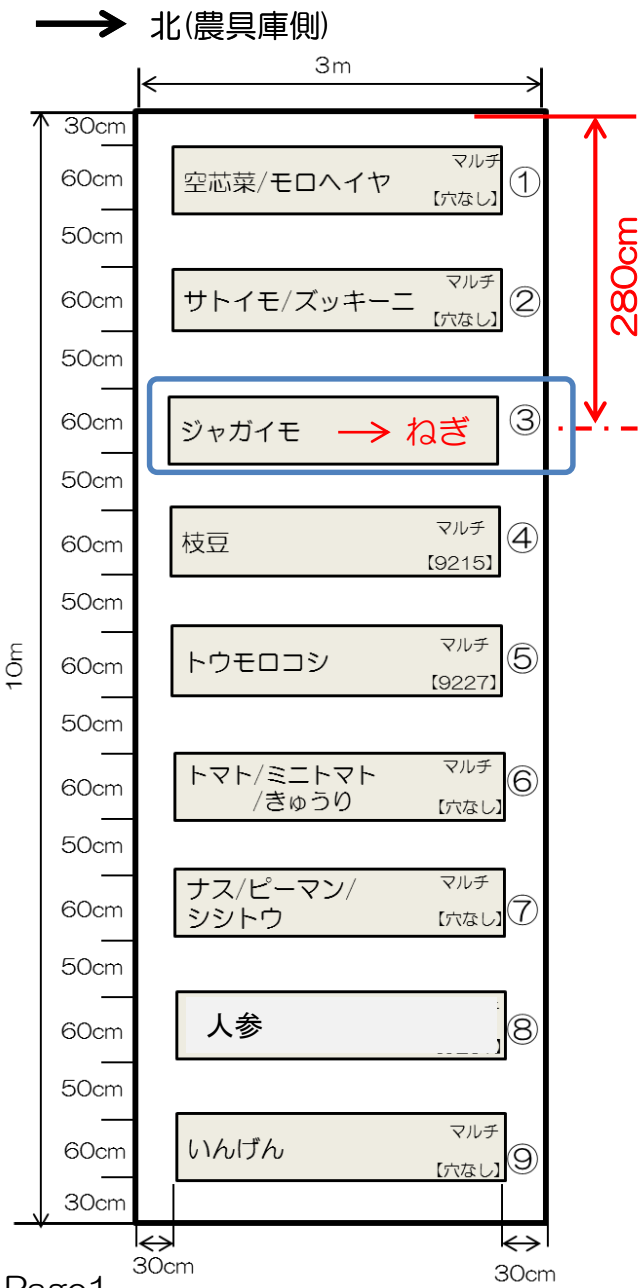
- 種まき　各２列
  五寸人参(赤点部)　5cm間隔/一つまみをすじまき
  向陽二号(青点部)　5cm間隔/一つぶ
  種まき後、わら３つをばらして表面に敷く

※種は最低限しか用意しておりません。
　他の区画の分も考慮し、撒きすぎないよう注意してください。
※人参は水分が足りないと発芽/成育しません、
　来園時には忘れず水を撒いてください。



Ver. 20180605

# 体験農園(小牧園)講習会 平成30年度　9回目　2018/6/23(土)、6/24(日)




注：講習当日の指示に従って作業ください

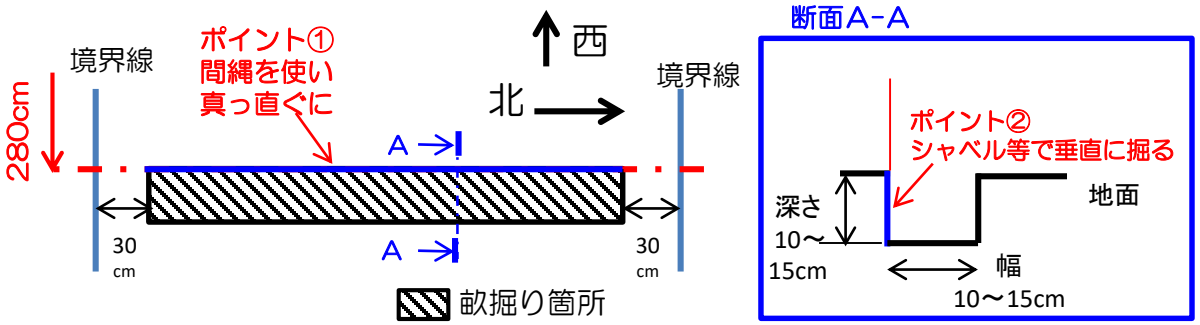
今回が春の最後の講習会です。以後管理・収穫期に入りますが、週に一度は来園くださるようお願いします。

□全般
- 収穫、管理作業

□ジャガイモ収穫　→　ねぎ植付
- ジャガイモ収穫
- 石灰(カルメイト)　→２杯
- 化成肥料(化成8号)　→　１杯

施肥後よく耕したのち平坦にしてください

- 畝掘り →基準面(青線部)が曲がらないようにしてください

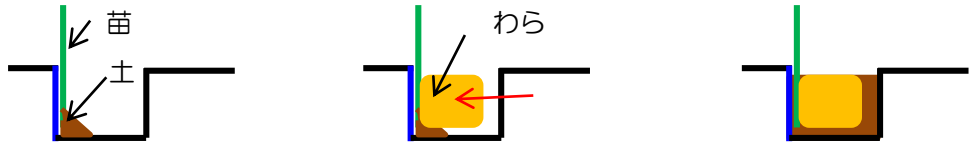



- 苗植え

①ねぎの苗を基準面につけ根元に土をかけて固定する

②わらを畝に入れ、基準面側に軽く押し付ける

③わらが埋まらない程度の深さで土をかける




3～5cm間隔、畝全体に

注意①
間隔狭いと細くなります！

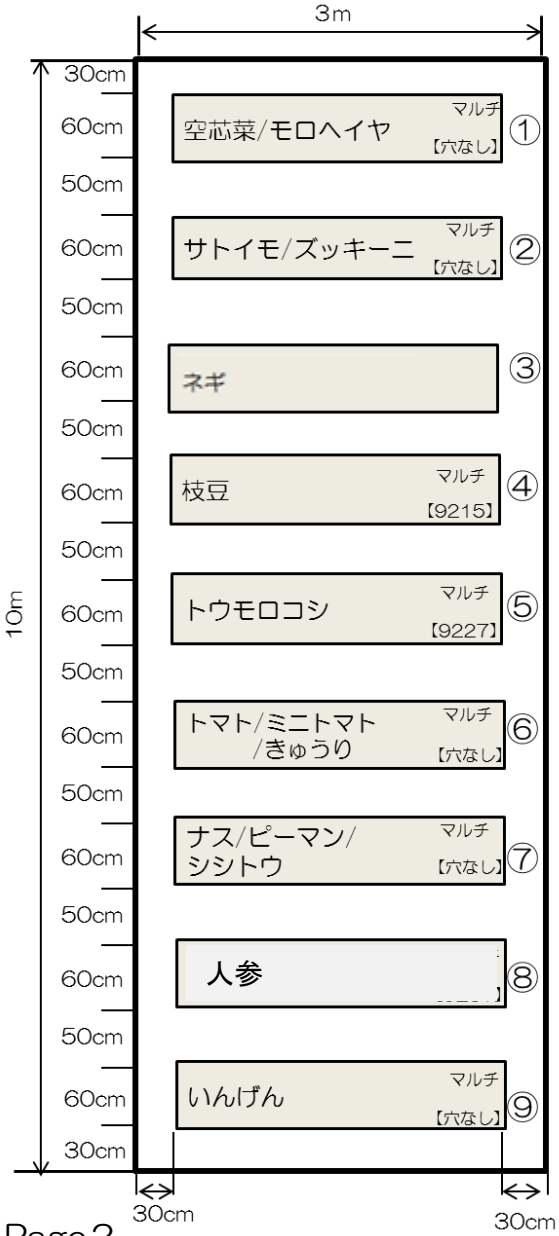
注意②
土をかけすぎると腐ります



Ver. 20180616

# 体験農園(小牧園)講習会 平成30年度　9回目　2018/6/23(土)、6/24(日)

## 「７月～８月の作業予定」




| 列番 | ６月下旬の状態 | ７月～８月の作業 | ８月末時点の状態 |
|---|---|---|---|
| ① | 収穫可 | 適宜収穫ください。大きくなりすぎたら一旦バッサリ切り、きれいにしてください。 | そのまま(10月まで可) |
| ② | 植付済 | サトイモ類は成長に合わせ、畝上げを行ってください。ズッキーニは随時収穫ください。 | そのまま(生育中) |
| ③ | 植付済 | 特にありません | そのまま(生育中) |
| ④ | 植付済 | 収穫可能時期はホームページ上でお知らせします。収穫完了後は、マルチを外し、平らにならしておいてください。 | 収獲完了(７月中旬) |
| ⑤ | 植付済 | 収穫可能時期はホームページ上でお知らせします収穫完了後は、マルチを外し、平らにならしておいてください。 | 収獲完了(７月～８月上旬) |
| ⑥ | 収穫可 | 適宜収穫して下さい | そのまま(９月上旬撤去) |
| ⑦ | 収穫可 | 適宜収穫して下さい。 | そのまま(9月下旬撤去) |
| ⑧ | 収穫完了 | 状況に応じ、種まきを行って下さい。 | そのまま(人参生育中) |
| ⑨ | 一部収穫可 | 適宜収穫してください。収穫完了後は、マルチを外し、平らにならしておいてください。 | 収獲完了(７月中旬) |

注1．収穫時期、消毒情報は、ＨＰを確認ください
注２．除草などの管理は適宜行ってください



Ver. 20180616

## 【お知らせ】

### ●管理・収穫期(７月～８月)の作業の注意事項

基本的には、皆さんのご都合の良い日時に来て作業を行っていただいて構いません。
ただし、以下の点に注意ください。

①講習会中断期間の連絡は「ホームページ」および「希望者へのメール連絡」にて行います。収穫情報、後述の消毒情報等は、こちらを確認してください。遠方の方で、ホームページを見れない方は、事前にお電話していただくことをお勧めします。

②なるべく週一度は除草/収穫に来るようにしてください。特にトマト/きゅうり/ナスについては、**間をあけすぎると収穫タイミング(食べ頃)を逃してしまうことがあります**。なお、枝豆、トウモロコシ等は収穫情報については、こちらからは**「ホームページ」と「希望者へのメール」以外では発信しません**ので、ご注意願います。

③夏場は午前中の早い時間、もしくは夕方に来られることを強くお勧めします。水分補給を忘れず、**健康に留意して**作業を行ってください。

④大体の日は畑に出ておりますので、作業等についてご不明点等がありましたら、その都度声をかけてください。ただし、**夏場の日中(11：00～15：00)は、昼休憩等のためほとんど対応できません**ので、ご注意ください。

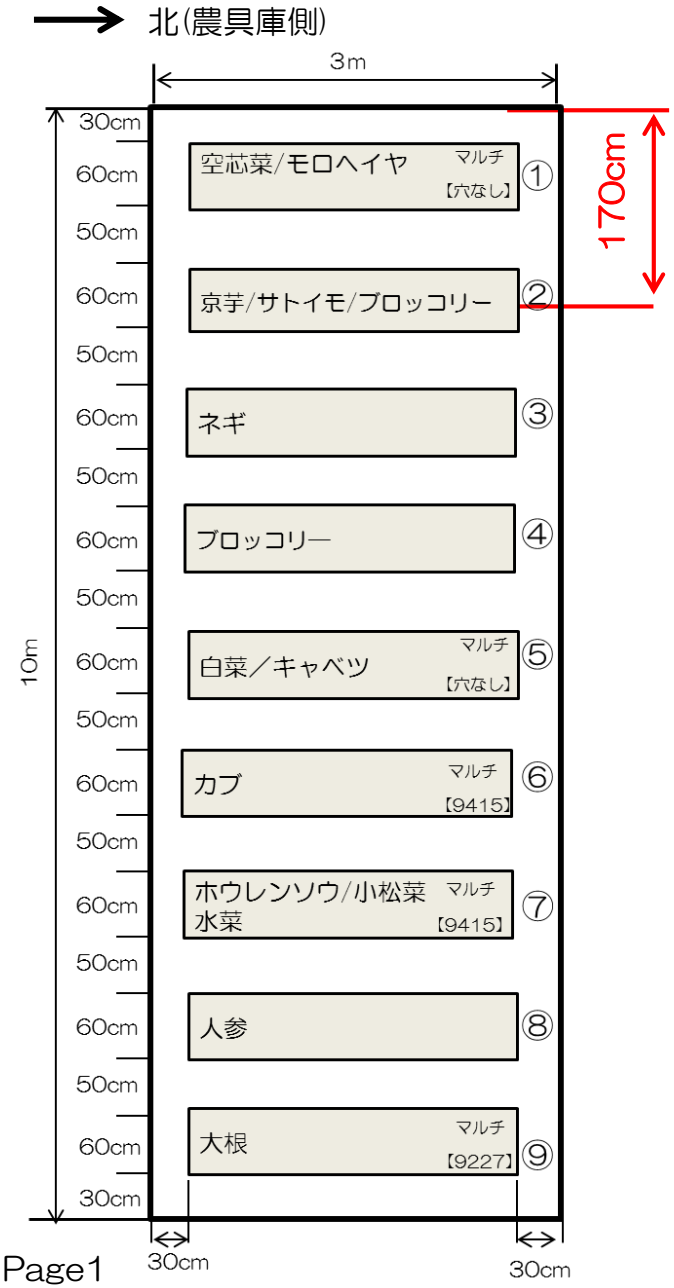
⑤自転車は**必ず指定場所に駐輪**するようにしてください。

⑥除草した草、大根の枯葉、トウモロコシの茎、外したマルチ等は、それぞれ指定した場所に捨ててください。また、**支柱に使用した鉄棒等は必ず元の場所に戻してください。**

### ●秋の講習会日程について

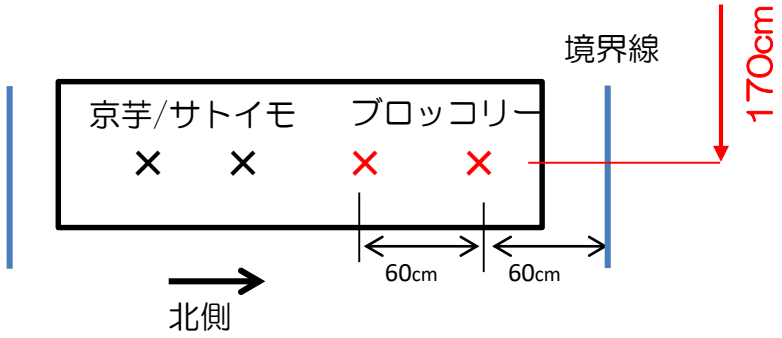
秋の講習会日程については、決定次第ホームページ上に掲載します

# 体験農園(小牧園)講習会 平成３０年度　ブロッコリー植付　2018年夏




□ブロッコリー(スティックセニョール)②列目)

- ズッキーニを片付け、マルチをはがし、鍬などでしっかり耕す
- 野菜名人、石灰　各１/2杯
- ブロッコリーを植え付ける(必要に応じ、鉄棒で誘引する)



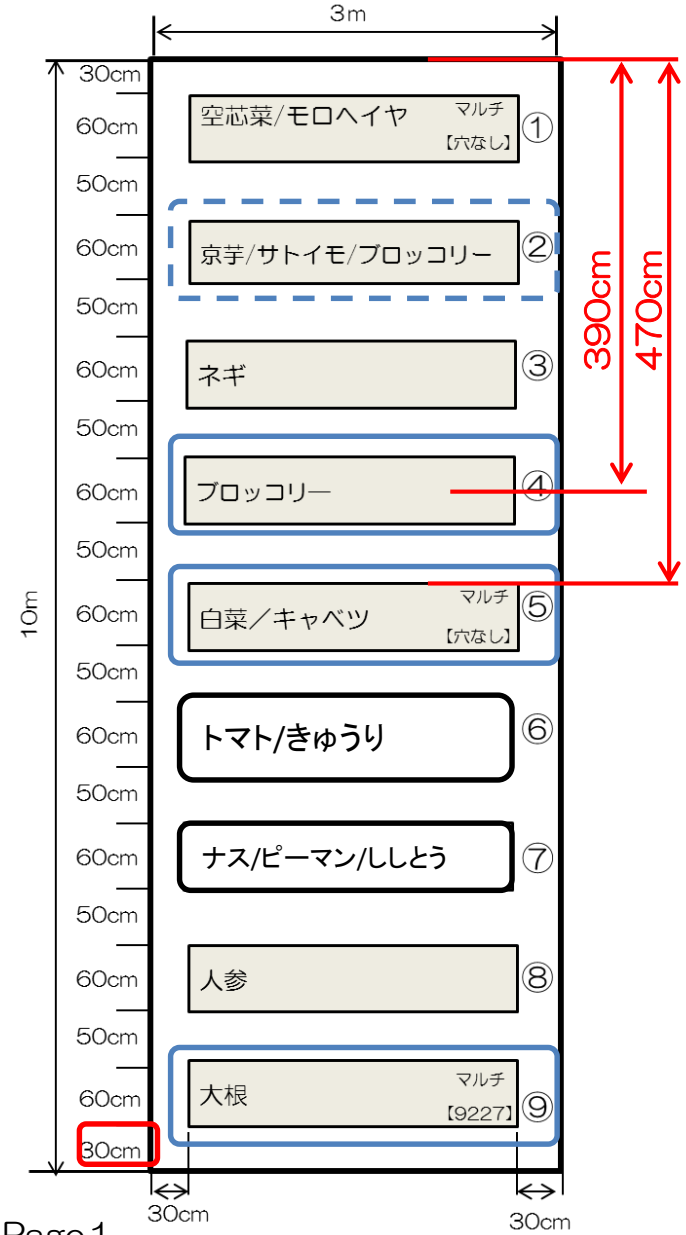



Ver. 20180803

# 体験農園(小牧園)講習会 平成30年度　10回目　　2018/8/25(土)、8/26(日)

→ 北(農具庫側)

注：講習当日、内容が変更になる可能性があります




□全般
- 除草、各種収穫、管理作業(ネギの土寄せなど)

□ブロッコリーの準備(④列目)
- 野菜名人1杯、石灰1杯
- 施肥後よく耕す　マルチはひきません

□白菜/キャベツの準備(⑤列目)
- 野菜名人1杯、石灰1杯
- 施肥後よく耕す
- 黒マルチをひく

□大根の準備(⑤列目)
- 野菜名人1杯、石灰1杯
- 施肥後よく耕す
- マルチ9227をひく

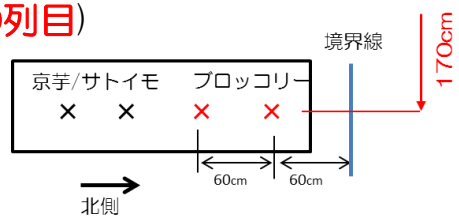
□その他

列⑥トマト類は９月上旬、列⑦ナス類は９月下旬を目安に撤収ください。9月中旬以降、カブ、葉物の種まきを行います。

**トマト支柱を縛ったビニール紐はマルチ捨て場へお願いします**

以下植付がまだの方

□ブロッコリー(スティックセニョール)**②列目**)
- マルチを半分はがし、しっかり耕す
- 野菜名人、石灰　各１/2杯
- ブロッコリーを植え付ける



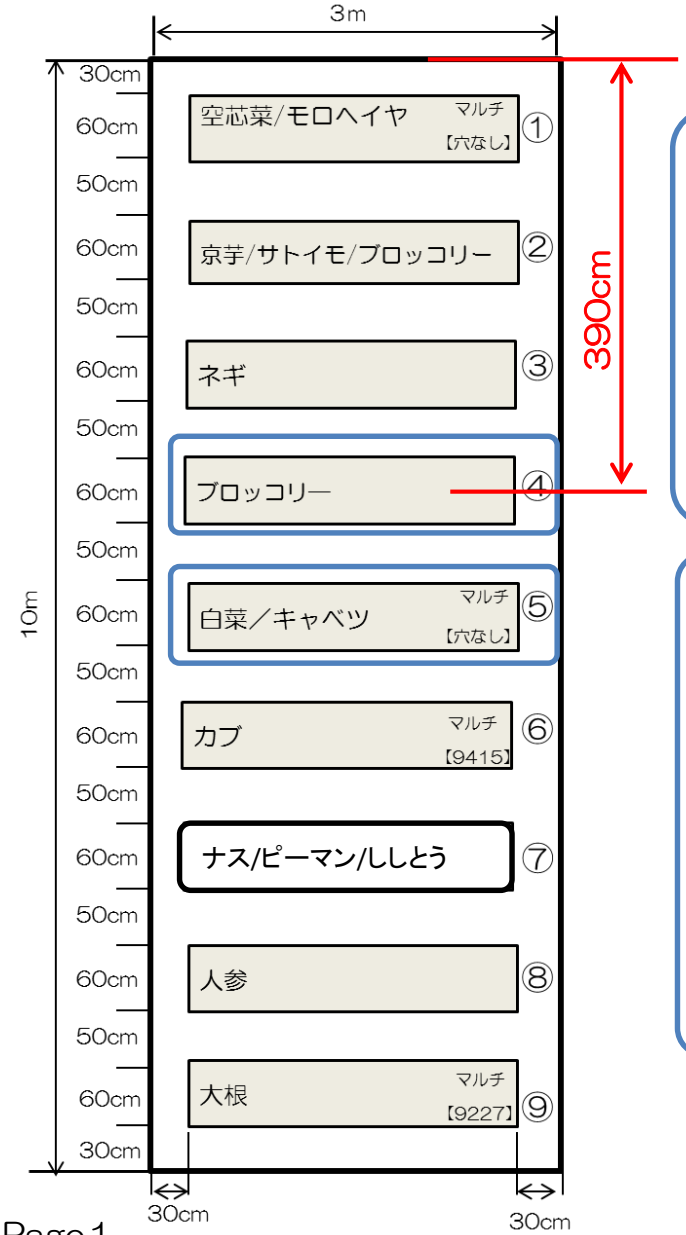



Ver. 20180819

# 体験農園(小牧園)講習会 平成30年度　11回目　　2018/9/1(土)、9/2(日)

→ 北(農具庫側)

注：講習当日、内容が変更になる可能性があります

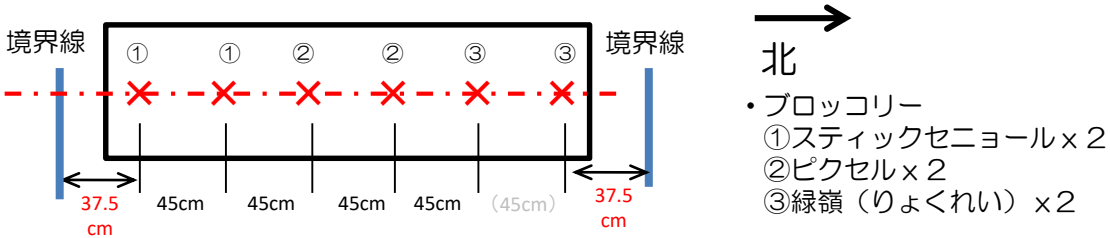



## □全般

- 除草、各種収穫、管理作業(ネギの土寄せなど)

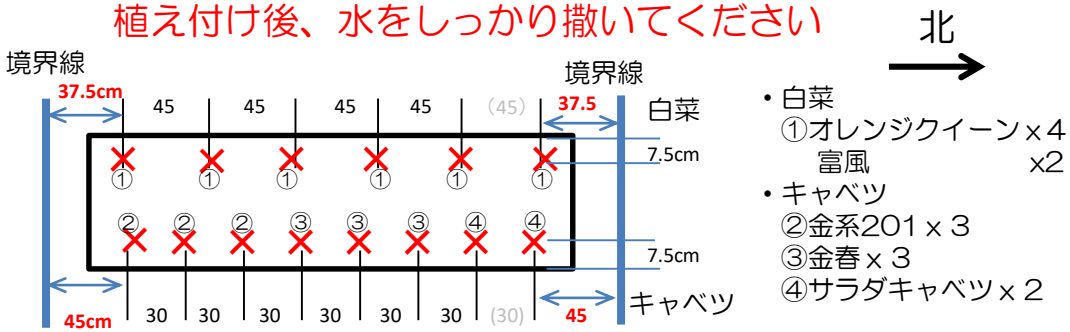
## □ブロッコリーの植付(④列目)

- ブロッコリーの苗(3種類)を植える。
  植え付け後、鉄棒に誘引する。




## □白菜/キャベツの植付(⑤列目)

- 黒マルチに穴をあけ、白菜、キャベツ(3種類)の苗を植える
  ※ポットに2本あるものは、そのまま植えてください
  植え付け後、水をしっかり撒いてください




## □その他

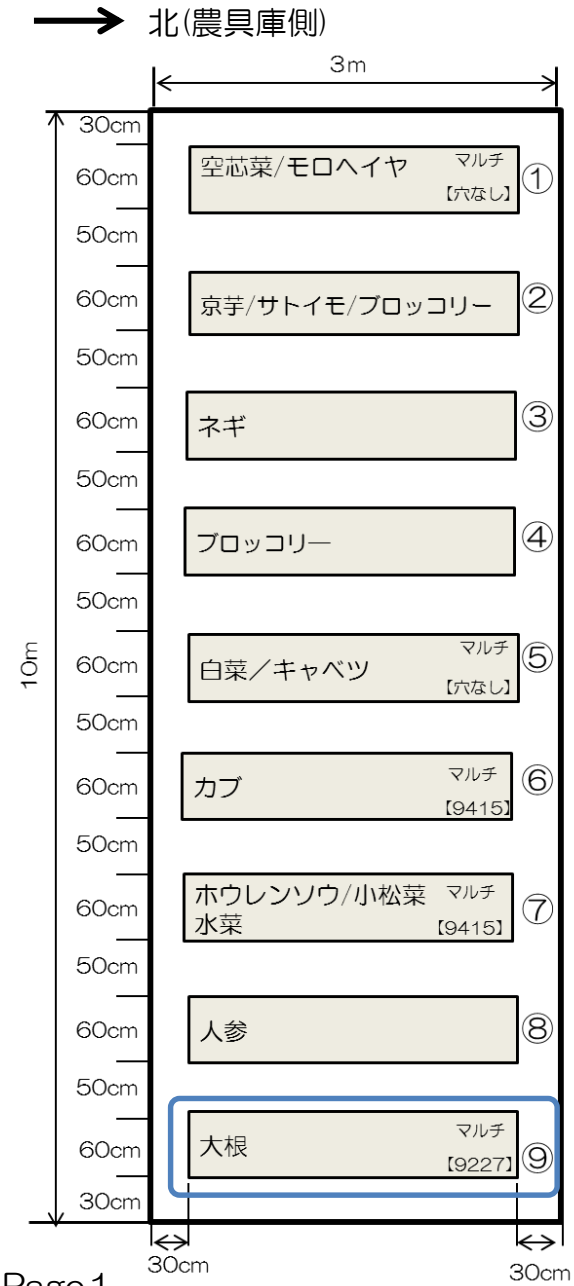
列⑦ナス類は9月下旬を目安に撤収ください。

トマト支柱を縛ったビニール紐はマルチ捨て場へお願いします



Ver. 20180905

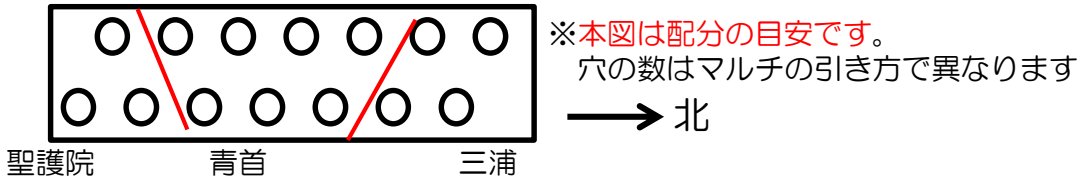
# 体験農園(小牧園)講習会 平成30年度　12回目　　2018/9/8(土)、9/9(日)




注：講習当日、内容が変更になる可能性があります

□全般
- 除草、各種収穫

□大根の種まき(⑨列目)
- 種まき(１穴４粒)　※目安：聖護院3～4、青首6～8、三浦３～4




大根の配分(数の変更、種類の変更)は、各区画の好みで行っていただいて構いません。

以下の作業資料は別途配布します。

□カブの種まき(⑥列目)　<u>９月末まで</u>に行ってください
- トマト類の撤収＆片づけ
  →<u>支柱を縛ったビニール紐はマルチ捨て場へ</u>
- 施肥(野菜名人/石灰　各１杯)後、うね全体を耕す
- マルチ9415をひく
- 種まき、各穴4粒程度　大カブ３列、小カブ３列、残り中カブ

□葉物の種まき(⑦列目)　<u>１０月上旬まで</u>に行ってください
- ナス類の撤収＆片づけ→<u>ネットは各自ＢＯＸへ戻してください</u>
- 施肥(野菜名人/石灰　各１杯)後、うね全体を耕す
- マルチ9415をひく
- たねまき、各穴4粒程度
  ホウレンソウ/小松菜/水菜　各5列程度



Ver. 20180905

## 【諸連絡】

### ●収穫期(9月～１月)の作業の注意事項

夏期と同様、ご都合の良い日時に来て作業を行っていただいて構いません。
ただし、以下の点に注意ください。

①収穫期の諸連絡は**「ホームページ」および「希望者へのメール連絡**」にて行います。
収穫情報、後述の消毒情報等は、こちらを確認してください。

②作業等についてご不明点等がありましたら、その都度声をかけてください。

③自転車は**短時間であっても、必ず指定場所に駐輪**するようにしてください。

④除草した草、枯葉、外したマルチ等は、それぞれ指定した場所に捨ててください。

⑤白菜、キャベツ等は、害虫の発生具合をみて、消毒を行う場合があります。
**消毒後一定期間は収穫ができません**。また、消毒情報は「ホームページ」、「メール連絡」でのみ行っています。

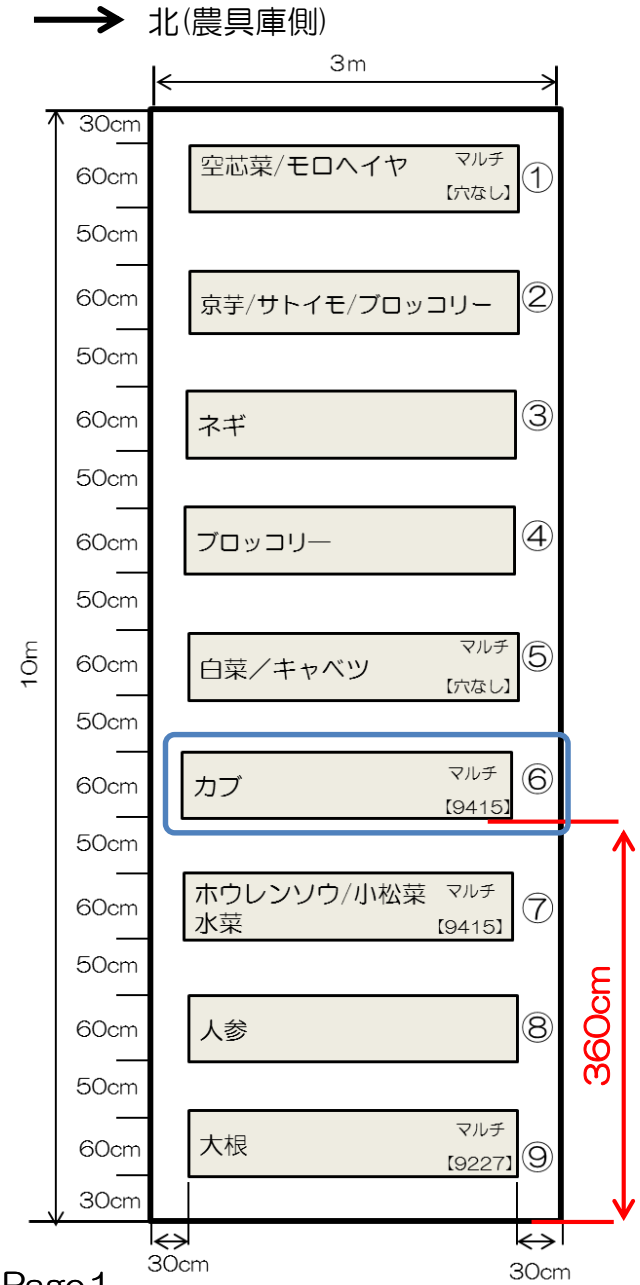
### ●収穫完了時期について

- 農園の契約満了日は**2019年1月31日**となっております。継続/非継続に限らず**2019年１月中旬を目標に、収穫完了**するようにしてください。
- 収穫完了後は、マルチを全てはがし、茎などのごみを撤去し、**何もない状態に戻して**いただけますようお願いします。
- 事前連絡なく期限までに撤収完了しない場合、非継続としますので、ご注意ください。

### ●次年度継続希望調査について

- 講習会場(ビニールハウス内)で１１/3～配布/回収します。**12/4まで**に提出ください。
- **書面のみの受付です**（メール/口頭不可）**提出ない場合は辞退者**とみなします

# 体験農園(小牧園)講習会 平成30年度　カブの種撒き　2018/9/22～9月下旬

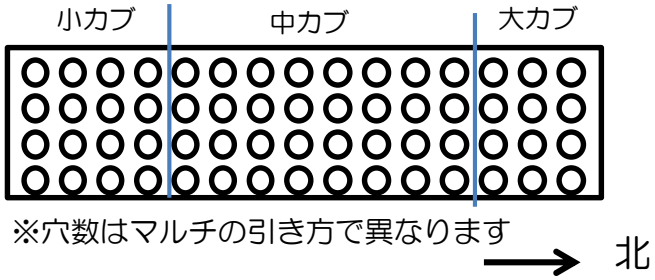



□カブの種まき(⑥列目)

- 施肥（野菜名人1杯、石灰1杯）
- マルチ9415をひく
  ※中央が沈むと種が水没します。慎重にひいてください。

- 種まき(**1穴4粒**程度)
  北側から目安として
  大カブ（聖護院かぶ）　：３列
  中カブ（耐病ひかりor天王寺かぶ）　：残りの列
  小カブ（小かぶ）　：3～6列位

注意
→種を混ぜないよう、慎重に種まきを行って下さい。
→雨天時の種まきはご遠慮下さい



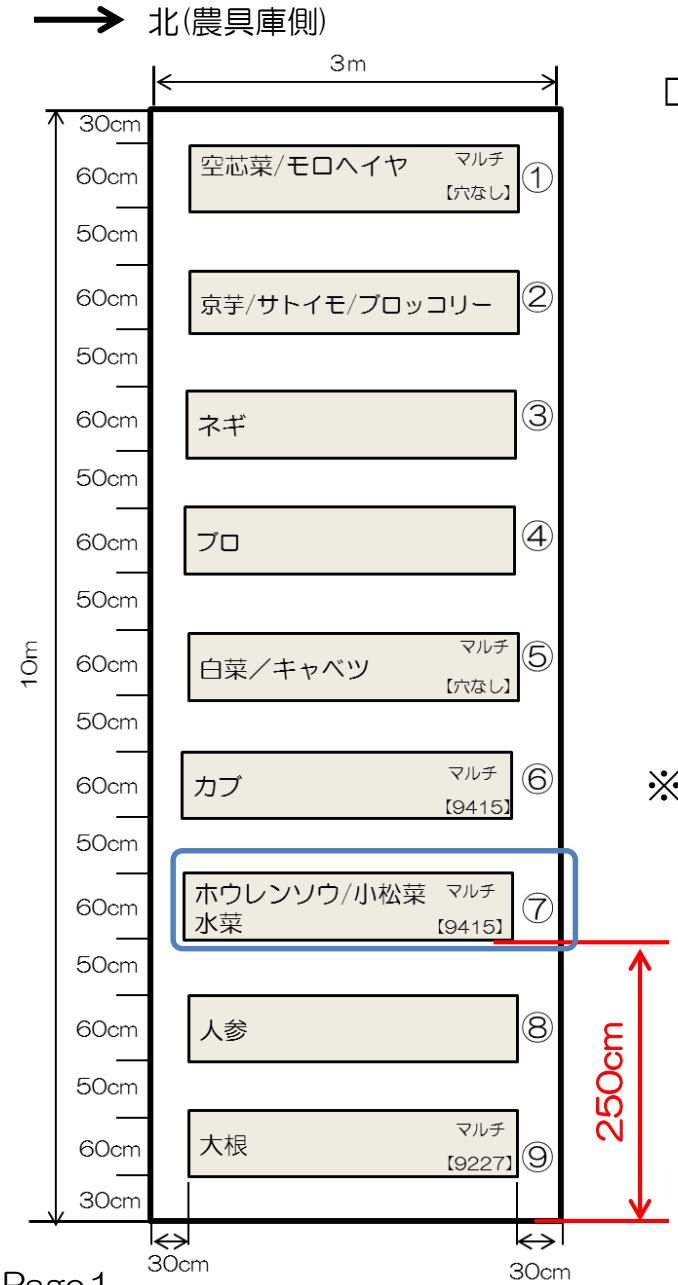

成育高さが違うため、順番を間違えないよう注意してください。

※穴数はマルチの引き方で異なります



Ver. 20180918

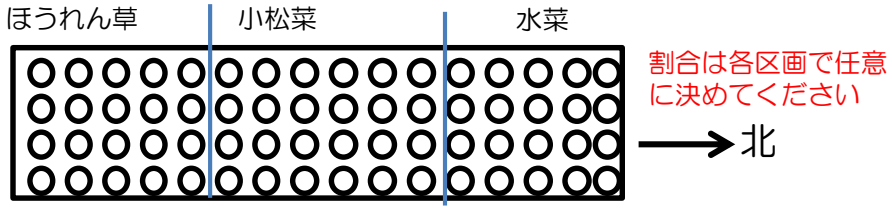
# 体験農園(小牧園)講習会 平成30年度　葉物種撒き　2018/9/29～10月上旬




□ホウレンソウ/小松菜/水菜の種まき(⑦列目)

- 施肥（野菜名人1杯、石灰1杯）
- マルチ9415をひく
  ※中央が沈むと種が水没します。慎重にひいてください。

- 種まき(１穴4～5粒程度)
  1穴4粒程度、割合は各6～8列を目安、割合は各区画で決めてください。※深すぎると発芽しません。
  ※深すぎると発芽しません。また種を混ぜないよう注意ください。



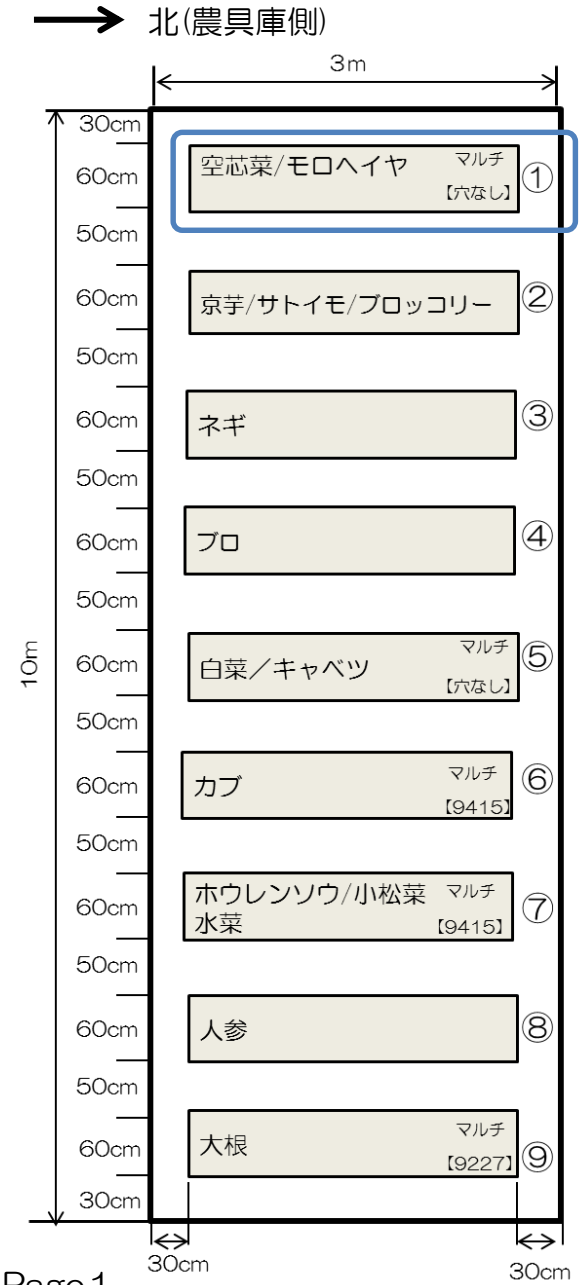

※穴数はマルチの引き方で異なります

※小松菜/水菜等、成長が早いものは、期間内で２回収穫可能な場合があります。その都度指示します。



Ver. 20180918

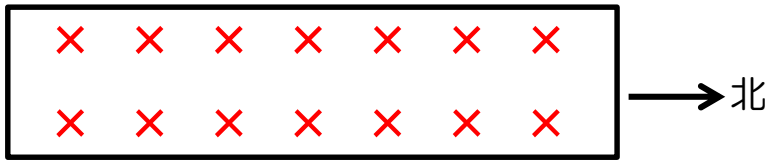
# 体験農園(小牧園)講習会 平成30年度　ターサイ　2018/10/18～10/末




本作業は希望者向けの内容となります。

□ターサイ植付(①列目)

- 空芯菜/モロヘイヤを片付け
- 施肥（野菜名人1杯、石灰1杯）、しっかりと耕す
- 苗14個を×部に植える






Ver. 20181020